



第15回 全国高校生金融経済クイズ選手権 エコノミクス甲子園 報告書





概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 2

エコノミクス甲子園はこんな大会です！・・ P. 3

各地方大会概要・全国大会参加者感想・・ P. 5

全国大会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 42

参加者アンケート・・・・・・・・・・・・・・ P. 45

メディア掲載実績・・・・・・・・・・・・・・ P. 46

事前学習教材・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 47

協賛社紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P. 48

Special Thanks・・・・・・・・・・・・・・ P. 49

リーダー挨拶・・・・・・・・・・・・・・ P. 52

エコノミクス甲子園の歩み・・・・・・・・・・ P. 54

歴代全体写真・・・・・・・・・・・・・・ P. 59





名称 第15回全国高校生金融経済クイズ選手権 エコノミクス甲子園

趣旨 社会にはばたく寸前の高校生が、世の中の金融経済の仕組みを理解しライフデザインやお金とのかかわり方を考える力=「金融知力」を楽しく身につける為の教育イベントとして開催する。

期日

- ・募集開始 2020年9月1日
- ・地方大会 2020年11月15日～12月20日 全31大会（インターネット大会含む）
- ・全国大会 2021年2月13日～14日

主催

- ・地方大会主催 各地の金融機関有志
- ・全国大会主催 認定NPO法人 金融知力普及協会

プラチナ
スポンサー



ゴールド
スポンサー



ブロンズ
スポンサー



地方大会主催



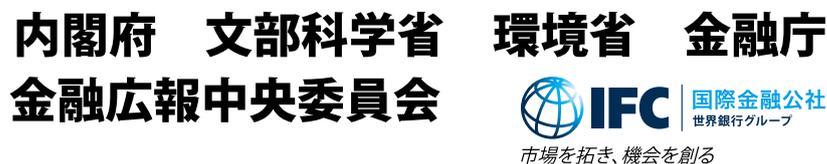
特別協力



協力



後援





1

ポスターや学校の先生に教えられて 出場を決意！

- ・公式 Web サイトから応募
- ・参加は無料！



2

金融知力普及協会から送られてくる 事前学習教材で経済を勉強

- ・18歳までに学ぶ 契約の知恵・・・寄贈：金融広報中央委員会
- ・これであなともひとり立ち・・・寄贈：金融広報中央委員会
- ・大学生のための人生とお金の知恵・・・寄贈：金融広報中央委員会
- ・マナブとメグミのお金のキホン BOOK・・・寄贈：全国銀行協会
- ・そんぼのホント＜フレッシュャーズガイド＞・・・寄贈：日本損害保険協会
- ・株式会社制度と証券市場のしくみ・・・寄贈：日本証券業協会
- ・ほけんのキホン・・・寄贈：生命保険文化センター
- ・もっと知りたい税のこと・・・寄贈：財務省
- ・今日から始められるかんたん不動産投資 初めてのJリート・・・寄贈：不動産証券化協会
- ・基礎から学べる金融ガイド・・・寄贈：金融庁
- ・わかりやすい投資信託ガイド 2020年版・・・寄贈：投資信託協会
- ・わかりやすいリートガイド 2020年版・・・寄贈：投資信託協会
- ・前払式支払手段ご利用者のみなさまへ・・・寄贈：日本資金決済業協会
- ・進学にかかるお金と奨学金の話・・・寄贈：日本FP協会
- ・10代から学ぶパーソナルファイナンス・・・寄贈：日本FP協会
- ・持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則・・・作成：環境省
- ・今日から役に立つ、経済の読み方と投資の基礎・・・作成：金融知力普及協会



3

地方大会に参加

- ・地方大会は各地の地方銀行など金融機関が地域貢献として開催
- ・生活していく上で是非知っておいて欲しい経済の基礎知識や地元経済などについて出題
- ・筆記問題（50問）と早押しクイズ、そして決勝ラウンドで競う
- ・オンライン大会では4択クイズ（50問）で正確さと早さを競う
- ・一部オンライン大会では小論文クイズを実施
- ・地方大会で優勝したチームは全国大会に出場

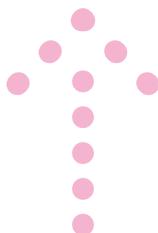




エコノミクス甲子園はこんな大会です！



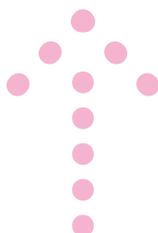
日本全国の高校生達に
金融経済を学ぶ機会を提供！
将来の日本をリードする人材の育成！



5

優勝チームはニューヨーク・ボストン研修旅行にご招待

- ・現地で活躍する様々な方々へのインタビューや経済に関する様々な場所を見学



4

全国大会に参加

- ・経済用語についての深い知識を問われる筆記クイズや4択クイズのほか他チームと協力するラウンドなどで、より深い知識や理解が求められる形式の様々なクイズに挑む





北海道大会

11月15日(日)開催

主催 北海道銀行
 参加校一覧 札幌光星高等学校、市立札幌開成中等教育学校、北海道釧路商業高等学校、北海道遠軽高等学校、北海道湧別高等学校、北海道札幌南高等学校、北海道旭川東高等学校、北海道富良野高等学校、北海道士別翔雲高等学校、北海道名寄産業高等学校、北海道千歳高等学校、北海道北見北斗高等学校、北海道函館中部高等学校、函館ラ・サール高等学校
 申し込みチーム数 29チーム(14校)

優勝チーム 北海道札幌南高等学校
 「流石に机」



全国大会感想

北海道大会代表 北海道札幌南高等学校 2年
 横田 茉穂

感想を一言でいうとすれば、「悔しい」である。昨年、地方大会で負け、先輩方が築き上げてきた連続出場の記録を止めてしまったというのもあって、エコノミクス甲子園のために事前教材を読み込んだり、経済ニュースにアンテナを張ったり、様々な対策をしたので、優勝出来なかったことはとても悔しい。また、私の所属するクイズ研究会の方々や全国大会に出場するというのを知って、頑張ると声をかけてくれたクラスメイト、そして両親など多くの人が応援してくれていたのが、期待に応えられず、それが一層悔しさを増した。しかし、全国大会までの勉強や大会当日は本当に楽しかった。今までは難しいと思っていた経済ニュースが理解できるようになり、よりいっそう経済学への興味が湧いた。特に、学校では教えてくれない財務諸表や投資についての知識を学んだことで、資産運用などにも関心が高まった。これは、エコノミクス甲子園に出なければ、ありえない事だったので参加して良かったと思う。また、大会当日は非日常を味わえて本当に良かった。ペアの芳岡さんと一緒に問題の傾向等を見ながら、作戦会議をした時間は、とてもワクワクした。対策した問題が出たときは努力が実り本当に嬉しかった。準々決勝で負けてしまったのが残念だが、いい思い出になったと思う。来年は受験があり、出場するのは難しいので、悔しさを晴らすことができないが、この経済や企業、投資についての知識を大学生、社会人になっても活かしていきたい。



北海道大会代表 北海道札幌南高等学校 2年
 芳岡 雅弘

エコノミクス甲子園との出会いは一年前のことだ。学校のクイズ研究会に入っていた僕は、先輩が出場したこの大会に興味を持ち、出場した。事前に渡された教材を何となく眺め、臨んだ地方大会。正直、勝てると思っていた。しかし、結果は敗退。全国への切符は掴めなかった。悔しかった。少し勉強した、聞いたことがあるという程度で勝てるほどこの大会は甘くなかった。来年こそは勝ちたい。そう思った僕は経済について日々学んでいった。ニュースや新聞などを通じて知らない用語、制度などを知るのは楽しかった。そして今年、二度目の地方大会に出場した。コロナ禍の下、慣れないオンラインでの開催であったが、勝って全国大会に出場することができた。初めての全国大会は、とにかく楽しかった。事前順位を決めるためのゲームや四択クイズに始まり、エコノミカで遊んだりなど、ここでも経済を学ぶことができた。肝心の大会結果であるが、準々決勝敗退、ベスト8という結果だった。負けたのは悔しかったが、全国大会に出場した人たちと交流できたのは楽しかった。ところで、エコノミクス甲子園についてだが、単に経済の単語や用語といった知識を得られるだけでなく、自らに必要な資産形成のための知識を得ることもできた。この経験を生かして金銭面も含めた自分の人生設計について考えていきたい。来年は受験があるが、それでもどうにかして出たいと思うほど楽しかった。開催してくださった皆様、本当にありがとうございました。





みちのく銀行

青森大会

12月20日(日)開催

主催 みちのく銀行
 参加校一覧 青森県立青森高等学校、青森県立青森東高等学校、青森県立青森商業高等学校、青森県立弘前中央高等学校、青森県立十和田西高等学校、青森県立八戸北高等学校、五所川原第一高等学校
 申し込みチーム数 8チーム(7校)

優勝チーム 青森県立青森高等学校
 「思金命」



全国大会感想

青森大会代表 青森県立青森高等学校 2年

小山内優人

エコノミクス甲子園との出会いは一年前のことだ。学校のクイズ研究会に入っていた僕は、先輩が出場したこの大会に興味を持ち、出場した。事前に渡された教材を何となく眺め、臨んだ地方大会。正直、勝てると思っていた。しかし、結果は敗退。全国への切符は掴めなかった。悔しかった。昨年に引き続き大会に参加しようと思っていたのだが、相方が急遽参加出来なくなってしまったのだ。去年は相方にリードしてもらっていただけにかなり焦った。なんとかクイズ研究会の後輩が参加してくれることになり安堵したものの、1年以上経済の勉強をしていなかったため、大会までに間に合うよう必死に勉強した。迎えた地区大会当日。勝てないと思っていたらまさかの県優勝。嬉しい半面、また勉強しないと…という気持ちもあった。

学校のテスト勉強の合間を縫って勉強したものの、満足に勉強出来ず迎えた全国大会当日。他高校の実力差を感じながら出番を待っていた。そして自分達の番に。惨敗に終わるのを覚悟していたが、偶々知っている問題に当たり、サドンデスまで持ち込めた。最終的に1回戦敗退という結果に終わってしまったが、僕の好きな「クイズ」で金融知識を競い合ったことはとても楽しかった。

無理を言って一緒に出場してくれた後輩の山田、協力・応援してくれた家族・友人、そしてこのような素晴らしい大会を開催してくれた金融知力普及協会様並びに、準備・運営に携わってくれたスタッフの方々に感謝してこの稚拙な文を締めくくりたい。

ありがとうございました。



青森代表 青森県立青森高等学校 1年

山田友樹

私がエコノミクス甲子園に出場すると決めたきっかけは、自分の知識の実力を知りたいと思ったということです。私は高校でクイズ研究会に所属しており、入部してすぐの頃から、先輩や先生の話から、エコノミクス甲子園の存在は薄々把握していました。しかしその頃、まさか自分が出場するとは思っていませんでした。昨年はコロナウイルスの影響で、ほかのクイズ研究会との交流や、クイズの大会がほとんどなく、自分の実力がどれほどなのかを知る機会を得ないまま、年末を迎えようとしていました。ちょうどその頃に、部活動で本格的にエコノミクス甲子園の出場を考えることになりました。自分の実力を試すいい機会だ、と思い、部長とともに参加することを決めました。意気揚々と参加を決めましたが、最初に送られてきた教材の量に圧倒されました。新たに覚えることがとても多く、テスト前の期間は、学業との両立が大変でした。まだ押さえられていない部分もたくさんある中、地方予選に挑みました。自分の知識を活かした部分もありましたが、大半は先輩に頼る場面がほとんどでした。しかし、2位の学校とは同点という僅差ながらも、県1位を獲得することができました。そうして挑んだ全国大会は、一歩及ばなかったものの、私たちににとっては大健闘でした。いずれにせよ、経済の勉強は、今後役に立つ知識ばかりで、とても楽しかったです。クイズ研究会の後輩にも、出場することをぜひ勧めたいと思いました。





秋田銀行

秋田大会

12月12日(土)開催

主催 秋田銀行
 参加校一覧 秋田県立秋田高等学校、秋田県立横手城南高等学校、秋田県立新屋高等学校、秋田県立大館国際情報学院高等学校、秋田市立秋田商業高等学校

申し込みチーム数 20チーム(5校)

優勝チーム 秋田県立秋田高等学校
 「チーム郡司」



全国大会感想

秋田大会代表 秋田県立秋田高等学校 2年
 菅原大地

「チーム郡司!」この名前が呼ばれた時、驚きのあまり、篠村を抱きしめてしまった。期限ギリギリで申し込んだ我々は他のチームより対策が遅れているという自覚から、休み時間になるや否や図書室に駆け込んでテキストを読み込んだ。

そして迎えた予選当日、曖昧な記憶と四者択一の運に身を委ねながら地味に正解を積み上げた結果、まさかの全国出場。応接室に秋田銀行の担当の方々、新聞記者、校長、副校長などそうそうたる人達が顔を揃えているのを見た時、物凄いことをしたのかもしれないとそこで自覚が芽生えた。

そこから2ヶ月ほどは新聞の経済欄に目を通す程度の日々が続き、迎えた2月13日、同じグループの城東、金大附属、広島との雑談の中で広島が作ったクイズをやることになったのだが、全く会話についていけず、そこで初めて危機感を覚えた。その夜は考査の勉強もそこそこに経済の勉強に励んだ。

結果は1回戦で新潟に敗れてしまったが、何十年経っても決して忘れることの無いお金よりも貴重な財産を手に入れることが出来た。

学校では深く扱われないが、それでいてとても大事な金融・経済の知識を今回このような形で身に付けることで、より深く社会の動向を捉えることができるようになったと感じている。また、全国には同年代で私よりも遥かに経済に対する関心や知識を持つ人が多くいることを知ってとても刺激になった。

最後になりますが、このイベントをできれば夏に開催して、3年間出場できるようになるとより良い大会になると感じました。

秋田大会代表 秋田県立秋田高等学校 2年
 篠村悠月

僕がエコノミクス甲子園の存在を知ったのは秋田県の地方大会の数ヶ月前、学校に入って「エコノミクス甲子園」と書かれたポスターを見た時でした。正直こういうのに興味はありましたが、実際に参加してみようという気持ちにはなりませんでした。

地方大会が始まる10数日前、その時隣の席だった大地さんが「エコノミクス甲子園に出てみないか?」と話しかけられ、せっかくだし出てみるかと計算的な感じで出場しました。地方大会本番まであまり日数もなく焦って勉強してみると、思いの外面白かったです。とは言っても数日しか勉強していない僕たちは何週間も勉強してきた他の参加者には勝てないな思っていました。結果発表の時、優勝がわかった時は非常に嬉しかったと同時に信じられない気持ちになりました。

全国大会に出て感じた事は2つあります。1つ目は他の高校生のレベルの高さに対する驚きです。難解な単語や区別につけにくい情報をきちんと区別をつけて理解、暗記していたことにとっても驚かされたと同時に自分の知識、能力の低さに少し落胆しました。2つ目は今大会が様々な方々の協力があって成り立っているということへの感謝です。参加者の影には多くの人の力が存在していると分かりました。最後に本当にエコノミクス甲子園に参加できて良かったです。スタッフの皆さん、他の高校の皆さんありがとうございました。





茨城大会

12月20日(日)開催

主催 筑波銀行
 参加校一覧 茨城県立竹園高等学校、茨城県立水戸第二高等学校、茨城県立水戸第一高等学校、茨城県立日立第一高等学校、茨城県立土浦第一高等学校、茨城県立古河中等教育学校、茨城県立並木中等教育学校、江戸川学園取手高等学校、東洋大学附属牛久高等学校、常総学院高等学校、土浦日本大学高等学校

申し込みチーム数 37チーム (11校)

優勝チーム 茨城県立並木中等教育学校
 [S&T]



全国大会感想

茨城大会代表 茨城県立並木中等教育学校 2年
 須藤 永遠

オンラインではあったものの、他校の方と交流をし、自分たちよりもより深く経済を愛する方々がいることを目の当たりにしたことは貴重な体験となりました。初日のエコノミカでは一勝も出来ず、そして何よりも事前クイズの難易度が県大会とは段違いに難しく、正直に言うと絶望してしまいました。しかし、他校の方たちと交流していく中で、確かに問題は難しかったけれど、全国大会に出られるだけでも貴重なことであり、経済の勉強は楽しいからいいじゃないかと言う人もいて、初心に返れました。もともとクイズ大会に参加したいという漠然とした思いの一方、自校にはクイズ研究会がないことに負い目を感じていたとき、教室でこうちゃんが大きく載ったエコ甲のポスターを見つけました。そのときにはまだ、学校の授業でも経済については何も学んでいませんでしたが、経済の勉強は面白そう(そして何より、無料で経済関連のテキストを頂ける!)ということで足を踏み入れました。残念ながら昨年度は県大会で敗れ、今年は念願叶ってZoomではありましたが、舞台に立たせて頂きました。この一年で政治も経済も大きく変わって、そんな中でも経済への熱意を絶やさずに来て、日々の生活でもその知識が活かしていることが、私が今回参加して得た財です。来年度は受験真っ只中で私のスペックだと参加は難しいですが、来年度参加される方、特に自校の後輩達には、是非オンラインでエコ甲、そして経済の面白さを味わって欲しいです。運営に携わって下さった方々、対戦してくれた方々、ありがとうございました。

茨城大会代表 茨城県立並木中等教育学校 2年
 鴛田 航

私は今回、茨城県代表としてエコノミクス甲子園に参加しました。参加するのは今年が2回目です。去年、地方大会で敗退したときの悔しさをバネに一年間頑張って勉強してきたので、全国大会出場が決まった瞬間は本当に嬉しかったです。

エコノミクス甲子園の勉強を通して学んだことは、いかに普段自分が経済について無関心であるか、そして経済と政治の関わりがとても深いということです。耳にしたことはあっても意味を全く知らないような用語が多くてはじめは勉強が大変でした。しかし、経済への理解が深まるとテレビのニュースなどで専門家が言っているような難しそうな話も少しわかるようになり、今までは「お金を効率よく稼ごうとする学問」程度に考えていた経済学が社会全体を回す奥深い学問であることを深く感じました。普段は気にならなかったノーベル経済学賞の研究を見るきっかけにもなったりと、エコノミクスの勉強を通して見聞、教養を深めることができたのはこの大会に参加した大きな利点だと思います。個人的に最もためになったと感じたのは投資信託、保険の分野です。これらの分野は社会人になったとき間違いなく重要なことなのに高校、大学で習う機会が殆どないからです。大会用に配布された教材は高校生が理解できるようにわかりやすく制度が説明されていたので楽しくなる話を身につけられました。

全国大会では残念ながら一回戦敗退という結果に終わってしまいましたが、クイズを楽しんだうえで全力を出し尽くすことができたので個人的には悔いは全くありません。コロナウイルスという困難な環境下で大会の開催のために全力を尽くして下さった大会のスタッフの方、サポートをしてくれた両親、圧倒的な知識で全国に連れて行ってくれた相手には感謝しかありません。本当にありがとうございました。





足利銀行

栃木大会

12月20日(日)開催

主催 足利銀行

優勝チーム 栃木県立宇都宮高等学校
[M国党]

参加校一覧 栃木県立足利高等学校、栃木県立石橋高等学校、栃木県立矢板東高等学校、栃木県立真岡女子高等学校、栃木県立栃木高等学校、栃木県立宇都宮高等学校、栃木県立宇都宮東高等学校、栃木県立宇都宮女子高等学校、栃木県立宇都宮商業高等学校、栃木県立大田原高等学校、栃木県立大田原女子高等学校、栃木県立佐野高等学校、作新学院高等学校

申し込みチーム数 39チーム(13校)



全国大会感想

栃木大会代表 栃木県立宇都宮高等学校 2年

大久保響

今回のエコノミクス甲子園は、楽しく、勉強になることで溢れていた。

まず、地区大会では、2台のスマホを使用したクイズが行われた。大きな会場で出場者達がしのぎを削る、という通常の光景を肌で感じられなかったことは残念ではあった。とはいえ、全国大会出場が決定となったのは、必要以上に緊張する必要が無かったことが大きかったのかもしれない。全国大会前の余興である、PBM(プレイバイメール)にも参加した。これは、終始焦りと後悔が連続する、大変に負荷の大きいものであった。その原因としては、大会当日の初回の相手である神奈川県チームが、その手腕をいかんなく発揮していたことがやはり大きいだろう。とはいえ、私達にはそのような手腕はなかったので、ただひたすら誠実にゲームを進行した。結果として3位入賞、賞品を受け取ることができた。

そして当日、本大会である。まず、控室での交流が楽しかった。全国大会に出場するプレイヤー達はやはり、経済にとっても精通していて、かつ地頭が良い方々ばかりであった。先日のPBMの振り返り、自分達の学校の話、果てには大喜利まで、様々な活動を自由に行うことができた。加えて、元プレイヤーのスタッフの方々もノリが良く、待機時間も暇にはならなかった。結果は芳しいものではなかったが、有意義な時間であったことは間違いない。

この大会の全てが、将来の自分への糧となったように感じる。ここで得た知識、経験を、これからの人生をより良くするものとして、十分に生かしたい。

栃木大会代表 栃木県立宇都宮高等学校 2年

矢追悠良

友達に誘われて参加したエコノミクス甲子園でしたが、非常に良い経験をさせていただけたと思います。学校ではなかなか学べないようなことも多く知ることができました。事前教材にあった経済の基礎的な知識は、クイズに限らず世間の日々のニュースの見方が変わってくる点で有意義なものでしたし、特に投資などについての知識はかなり実用的なものだったと思います。ただのクイズ大会ではなく、将来的に真に役立つ知識を蓄えるいい機会になりました。一方で、言っても仕方がないことは重々承知の上ですが、やはり例年通り東京の会場で行えなかったのは残念でなりません。全国の高校生と直接交流を持てる機会はそう無いものですから、エコ甲の話題に限らず様々なお話ができればと思っていたので。Zoomだとどうしても個人的な話をするのは難しいものです。しかしながら、PBMや待機ルームでのご配慮など、限られた条件の中でどうか参加者同士の交流の機会を確保しようとしてくださったおかげで、非常に楽しませていただいたことも事実です。本当にありがとうございました。

受験勉強との兼ね合いもあるので来年度の参加は難しいかもしれませんが、無事合格でき、また生活が落ち着いてくれば、微力ながらスタッフとして貢献できないかと現在考えております。どうなるかはわかりませんが、もしそうなればよろしくお祈いします。

この度は素晴らしい機会を与えてくださり、本当にありがとうございました。これからもたくさんの方の高校生により深い経済の学びを与えていってくださればと思います。





群馬銀行

群馬大会

12月20日(日)開催

主催 群馬銀行
 参加校一覧 高崎健康福祉大学高崎高等学校、群馬県立尾瀬高等学校、
 群馬県立太田高等学校、群馬県立前橋女子高等学校、群
 馬県立中央中等教育学校、群馬工業高等専門学校、利根
 沼田学校組合立利根商業高等学校、伊勢崎市立四ツ葉学
 園中等教育学校

申し込みチーム数 19チーム(8校)

優勝チーム 群馬県立中央中等教育学校
 「バカルディ」



全国大会感想

群馬大会代表 群馬県立中央中等教育学校 2年
 後藤 柚香

私たちはPBM(プレイバイメール)というエコノミクス甲子園全国大会の事前に行われる、「裏切りの裏切りによる裏切りのためのゲーム」にも参加させていただきました。中国を舞台にコンビニチェーン経営者となり、総資産額を増やすというものです。相方がこのゲームを主に担当しており、私たちの会社は零細企業にもかかわらず、徳島城東と栄東との同盟関係によって駿台甲府からポイントを稼ぎ、更に浅野の傘下になることにより、強制的にポイントを稼ぐ、ということをしたらしいです。

PBMで稼いだのと事前クイズでそれなりにできていた(?)のか、事前順位は1位をとることができました。

東海高校さんとの初戦は危なげなく勝利することができましたが、チャレンジ問題において誤答した際のリスクの低い、つまり高難易度に設定された問題を答えることができずに悔しかったです。(リニエーション、カルテルや談合をしても自主申告をすれば課徴金が減免される、あるいは刑事告発の免除がされるというもの。leniency = 寛大さ。覚えまます。)

お昼休憩を挟み、昭和薬科大学附属高校さんとの第2戦目を行いました。結果はボロボロでした。

私は14・15回大会と連続して出場させていただきました。ともに目立った実績を獲得できなかったのは後悔していますが、エコ甲で得た知識によって交友関係が広がり、見られる世界の幅が少し広がったという点においては会心しています。

優勝校(千葉高校)、準優勝校(浜松学芸)が同導入ルームの方々でとても感慨深いです。おめでとうございます!

最後に、地方大会主催の群馬銀行の皆様、全国大会主催の金融知力普及協会の皆様、学校の先生、そしてスポンサーの皆様、オンラインながらも仲良くしてくれた仲間、ずっと連れまわしてしまった相方に感謝と共にお礼申し上げます。

す。本当にありがとうございました。

群馬大会代表 群馬県立中央中等教育学校 2年
 中村 胡々乃

エコノミクス甲子園への参加は今年が初めてです。昨年も出場していた相方の姿を見て、参加を決意しました。地方大会に参加する数多くのチームの中で、見事に優勝を掴み取った姿を「観客」として見ていた時に得た感動を、今年は「チームの一人」として一緒に感じられて本当に嬉しかったです。

昨年、相方が全国大会で思うように力が出せずに悔しい思いをした経験から、今年の全国大会では優勝を目標に日々努力を重ねてきました。ただ、結果は2回戦敗退と、目標とは程遠いものになってしまいました。大会終了後は悔しさ、悲しさ、不甲斐なさで気持ちの沈んだ日が続きました。この気持ちは、ずっと抱え続けるものだと思います。ですが、この悔しさ自体も今後の糧となるはずで。そして、大会で得たことは他にも数多くあります。ここではあえて、金融知力以外のものを取り上げます。まず、普段私たちがどれだけ多くの人に支えられて過ごしているのかを再認識しました。家族、友人、先生、そして地方大会優勝を取材してくださった記者さんなど、様々な人が私たちの姿を見守り、応援してくださったことは大変嬉しかったです。こうした期待は、日々の励みとなっていました。そして、相方と毎日のようにZoomを繋いでオンラインでエコノミクス甲子園対策に打ち込んだこの約半年は、高校生活のかけがえのない思い出です。目標を設定し、そこに向けて努力をし続けられたことは大きな自信にもなりました。

応援してくださった方々、大学生スタッフの皆さん、群馬銀行様、金融知力普及協会様、本当にありがとうございました。でも誰よりも、一番感謝を伝えたいのはペアを組んだ相方です。私をエコ甲に導いてくれて、そしてここまで一緒にやってきてくれて、本当にありがとう!







埼玉りそな銀行

RESONA

埼玉大会

12月20日(日)開催

主催 埼玉りそな銀行
 参加校一覧 開智未来高等学校、淑徳与野高等学校、武南高等学校、
 栄東高等学校、本庄東高等学校、早稲田大学本庄高等学
 院、山村学園高等学校、大宮開成高等学校、埼玉県立越
 谷北高等学校、埼玉県立熊谷高等学校
 申し込みチーム数 31チーム(10校)

優勝チーム 栄東高等学校
 「まさだ」



全国大会感想

埼玉大会代表 栄東高等学校 1年

小谷 祐太

まずはこの情勢の中で大会を開催して下さった運営の方々ありがとうございました。オンラインでの開催ということで、ほかの参加者の皆さんと交流する機会があるか不安でしたが杞憂に終わりました。事前ゲームのPBMやエコノミカ大会といった余興や、本戦の各場面で他校の方と接点を持てるような仕組みが整っていた上、大会終了後にはSNSでつながり「いつかオフラインで」などという話もすることが出来ました。さて地方大会から振り返ると、これまでは金融経済に関して全く興味がなかったのですが12月に勉強を始めてからどんどんのめりこんでいきました。生活の随所に生きる知識が多く将来の就職を見据えてもとても有益なものを得ることが出来たはずで、また、全国大会では地方予選よりも遥かに多くの知識を必要とし、金融経済の時事を対策する中で昨今の国際情勢について理解を深めることができました。結果としては1回戦で敗退となってしまいましたが、積み上げた知識を出し切ることが出来たのはよかったです。それでもやはりとても悔しいのでまだ高1であることをいいことに来年も出場したいと思います。最後に、私は将来「伝統工芸品を扱う専門商社」に就職しようと考えています。工芸品を媒介として異文化共有を図ることが目的です。今大会で得られた知識をマーケティングなどで役立てることができればと思います。参加者及び運営の皆様、当日までご教示いただいた方々、そしてパートナー、本当にありがとうございました。改めて感謝申し上げます。



埼玉大会代表 栄東高等学校 1年

日置 健斗

今回参加したエコノミクス甲子園は僕にとって悔しい反面貴重な経験ともなりました。地方大会では一緒に参加したクイズ研究部の部員たちと分担して作問することで効率よく対策することができ、結果として埼玉県の1位から3位を独占することができました。全国大会の対策も沢山の方々に手伝っていただきました。沢山の問題を作ってくれた部員、対策に付き合ってくれたOB、特別に授業をしてくれた政治経済の先生、この場を借りて感謝を述べたいと思います。事前に行われたPBMでは初動で失敗してしまい結果はそれほど良いものではありませんでしたが他のチームと協力し楽しむことができました。またやる機会があればもっと上手く戦いたいです。前日にはまずエコノミカの大会がありました。かなり本気でやっている人もいましたが楽しく戦えました。また事前ペーパーは難易度が予想よりも高くあまり点数を取れませんでした。そして翌日迎えた本番、地震などもありましたが無事参加できました。結果は一回戦敗退、一問のミスが命取りとなるルールでまさにその一問のミスによって敗北してしまいました。自チームが弱かったとは思いませんが、対策の余地があったのは間違いないと考えると悔しさの残る結果となりました。しかし今年1年生で全国大会に参加できたことは来年以降のアドバンテージ、ひいては将来に役立つと信じ、来年も全国に行くことを目指し頑張りたいと思います。





千葉大会

12月20日(日)開催

主催 千葉銀行・千葉興業銀行
 参加校一覧 渋谷教育学園幕張高等学校、東京学館浦安高等学校、市川高等学校、千葉県立千葉高等学校
 申し込みチーム数 15チーム(4校)

優勝チーム 千葉県立千葉高等学校
 「汚名挽回」



全国大会感想

千葉大会代表 千葉県立千葉高等学校 2年
 寛 友 輝

よもやよもやだ。まさかここまで来ることができるとは夢にも思わなかった、わけではないが、まさしく夢物語であった。それがあれよあれよという間に現実のものとなった。優勝である。ニューヨークである。とてもうれしい。この大会を通してわかったことは、私にはまだまだ知らないことがたくさんあるということである。当日は、チーム2人の知識がうまくかみ合ったように感じた。ただ、だいぶ相方に助けられた。YouTube上の配信で他チームの戦いを見てみると、私の知らないような知識が出題され、それに他チームの人々は正解していきのだった。いくらニュースが理解しやすくなったとは言え、私はまだまだであると思い知らされた。それが悔しかった。私にチャンピオンという称号はふさわしいのかとも思う。ただ、綱渡りだったとしても、相方がすごかったただけとしても、私たちのチームが優勝したのは事実である。それに、案外みんな私と同じようなことを思っているのかもしれない。ともかくも、私が輝いた栄光に見合うような人間になるためには、経済、金融についての知識、教養を身に付けなければならない。そういう状態で社会に出たいし、これから生きていくためにはそうならなければならないのだろう。エコノミクス甲子園を通して、他校の人と交流したり、メディアの取材をうけたり、なかなかできないような経験ができた。コロナ禍の中、今大会開催のために尽力された方々にこの場を借りて感謝申し上げたい。



千葉大会代表 千葉県立千葉高等学校 2年
 蜂 巢 直 暉

僕は、エコノミクス甲子園に参加してよかったと思うことが2つあります。1つ目は、経済に関する深い理解が得られたことです。僕はもともと経済にとっても興味を持っていたというわけではなく、どちらかといえば軽い気持ちで参加しました。地方大会に向けて実際に経済の勉強をしてみると、自分がいかに「経済」について知らなかったかということがよくわかりました。自分が思っていた以上に経済の仕組みは奥深く、興味深いもののように感じられました。そして、自分には関係ないと思っていた金融商品や資産運用の話が、実は自分が将来設計をしていく上で避けては通れないものだということにも気づきました。これらの話は大人でもよく知らない人が多い印象がありますが、だからこそ高校生のうちにしっかり学んでおくことには大きな意義を感じました。2つ目は、同年代の仲間と交流し、全力で勝負することができたことです。PBMや大会本番では、他の学校の人と交流できる機会が数多くあり、その中でたくさんの「個性的な」友達を作ることができました。そして、大会に向けて一生懸命努力してきた仲間と、この大舞台上で正々堂々と勝負できるのは何よりも光栄であったし、僕の一生の思い出になりました。今回、優勝という大きな結果を残すことができたのは、相方の寛のおかげであり、応援してくれた仲間のおかげであると心から思います。僕は、この第15回エコノミクス甲子園に参加できたことを誇りに思います。





横浜銀行

Bank of Yokohama

神奈川県大会

12月20日(日)開催

主催 横浜銀行
 参加校一覧 青山学院横浜英和高等学校、逗子開成高等学校、立花学園高等学校、神奈川県立追浜高等学校、神奈川県立深沢高等学校、神奈川県立横須賀高等学校、神奈川県立光陵高等学校、浅野高等学校、洗足学園高等学校、武相高等学校、森村学園高等部、桐光学園高等学校、慶應義塾湘南藤沢高等部、川崎市立川崎高等学校、中央大学附属横浜高等学校
 申し込みチーム数 30チーム(15校)

優勝チーム 浅野高等学校
 「浅野高校」



全国大会感想

神奈川県大会代表 浅野高等学校 1年
 西尾 榛 起

相方の坂本君に誘われ、エコノミクス甲子園に出場しました。経済に漠然とした興味はあったものの、最初は本気で全国大会で優勝しようという気持ちはあまりなく、結果にこだわらず楽しめればよいと思っていました。しかし、神奈川県大会に向けて勉強をするにつれて、金融知識が増えていくのを感じ、真剣さが増していきました。結果、神奈川県大会では優勝することができ、今までに感じたことのない達成感を感じるとともに、自然と全国大会に意識が向いていきました。全国大会のために、学校の勉強や行事と並行して一生懸命経済を勉強したことは、きっと生涯の宝物になると思います。

今年の全国大会は初のオンライン開催となり、例年行われていたようなプレゼン企画などはなく、少し残念でしたが、スタッフの皆さんが大会前にPBMを企画してくださり、大いに楽しめました。相方の並々ならぬ努力もあり、PBMでは1位になり、全国大会本戦の前に弾みをつけることができました。その結果、事前順位は2位になったものの、本戦の前日にあった事前クイズではとても苦戦し、本戦前にとっても不安な気持ちになり、前日は深夜まで猛勉強したのをよく覚えています。しかしその甲斐あってか、本戦では対戦相手に臆することなく、ベスト4に入賞することができました。エコノミクス甲子園出場を決めた当初はこんな成果をあげられるとは思ってもいなかったので、とても嬉しい気持ちになったのと同時に、優勝できなかった悔しさが込み上げてきました。僕はまだ一年生なので来年度以降また全国の舞台に立ち、雪辱を果たしたいと思います。



神奈川県大会代表 浅野高等学校 1年
 坂本 優 樹

僕たちは神奈川県代表としてエコノミクス甲子園全国大会に参加し、ベスト4という結果を残しました。

「全国大会優勝」を目標にこれまで努力してきたために、準決勝で敗退してしまったことは非常に悔しいものでしたが、一方で準決勝へ進出できたことを非常に名誉なことでした。僕は中2の時にクイズ研究会を立ち上げました。その後、紆余曲折を経て同好会へと昇格し、現在(2020年度)は浅野クイズ研究会も創設後3年目です。文化祭で来場者の方に楽しんでもらえた時の喜びや、同好会昇格時の喜びは今でも忘れられないもので、クイズ研究会という組織をここまで大きくすることができたのは僕の誇りでもありました。一方で、クイズ研究会を立ち上げてからまだ一度も「実績」と呼ぶことのできるものを獲得していないという焦りもありました。「次こそはとらなければならない」「自分がクイズ研究会の代表でいられるのはあと1年だ」「4年間も代表を務めて何の実績も獲得できないわけにはいかない」そのような思いで僕はこのエコノミクス甲子園へ挑戦しました。その結果、神奈川県大会で優勝、そして全国大会ではベスト4という実績を、浅野クイズ研究会へ持ち帰ることができたのは本当に嬉しいことでした。

最後に、ペアとしてエコノミクス甲子園へ参加してくれた西尾榛起君と、神奈川県大会を主催し、全国大会の応援をしてくださった横浜銀行さん、そしてこのエコノミクス甲子園を開催していただいた全ての方々へ感謝を申し上げます。エコノミクス甲子園という大会があったからこそ、僕はここまで経済・金融について学ぶことができました。本当にありがとうございました。



第四銀行



北越銀行

新潟大会

12月20日(日)開催

主催 第四銀行・北越銀行(2021年より第四北越銀行)
 参加校一覧 新潟県立柏崎高等学校、新潟県立新潟高等学校、新潟県立新潟南高等学校、新潟県立巻高等学校、新潟県立国際情報高等学校、新潟県立佐渡高等学校、新潟県立三条高等学校、新潟県立三条商業高等学校、新潟明訓高等学校
 申し込みチーム数 18チーム(9校)

優勝チーム 新潟県立新潟高等学校
 「ナノプシャン」



全国大会感想

新潟大会代表 新潟県立新潟高等学校 1年
 窪田 康成

今回のエコノミクス甲子園では、高校生の私たちにはなじみの薄い金融や経済についての知識を得ることができ、将来の生活につながる素晴らしい体験ができました。地方大会に向けては株式や債券などの金融商品や、保険等の社会保障制度について学びました。銀行に預金していても利子がほとんどつかない「超低金利時代」と呼ばれるこの時代に、それらの金融商品についての知識を持ち、状況や好みによって選択し利用していくことはより重要になってきています。社会保障制度の重要性は言うまでもなく、地方大会で学んだことは直接的に私たちの生活に役立つと思います。全国大会に向けては金融に限らず、経済学全体について学びました。現実の経済をよりよく表すモデルを、数式を用いて作り出していく経済学の考え方や、金融や経済にかかわる法制度など中には実生活では使わないかもしれないこともありましたが、経済の分野へ視野を広げる良い機会になりました。全国大会開催の前に行われたPBM(プレイバイメール)では他の企業さんと協力したり、裏切り裏切られたりして、ゲームを楽しみました。PBMでは融資や買収等の形式的な企業活動はもちろん、リスク分散やより有利な内容での契約成立を目指す交渉など、「If」を考え最善のプランを練っていくプロセスも体験でき、上記の学習だけでは決して得られないような経験ができました。将来どのような職業に就くにしろ、金融や経済は私たちの生活に大きく影響してくるため、今回のエコノミクス甲子園を通しての学習や体験はとても貴重だと思いました。最後に、この大会を運営し支えてくださった方々、本当にありがとうございました。

新潟大会代表 新潟県立新潟高等学校 1年
 鷺見佳奈恵

私がエコノミクス甲子園で学んだのは、全国のレベルの高さです。先輩方に1点差で勝った県大会。とても嬉しかった反面、全国で上手くやっけていけるか不安でした。1日目のエコノミカ大会では、テストプレイで捨ててしまいがちだった「金融知力」カードが本領を発揮し、勝つことができました。他の高校の方々との交流を楽しめて良かったです。金融知力万歳。そして始まった本番。先輩や同級生たちのためにも精一杯勉強して臨んだものの、事前クイズが全く分からない。相手の窪田君のおかげでそこそこの順位に着くことができましたが、不安は膨らんでいきました。2日目、一回戦目では近似値問題で思ったよりも近い値を出すことができ、運よく勝利できました。しかし、二回戦目では不安は的中。私達が混乱している中、札幌南のお二方が難なく解答していき、完全な敗北と、全国のレベルを実感させられました。多くの方々が応援してくださったにも関わらず私の努力不足によりこのような結果になってしまい、本当に申し訳ありません。今回は新型コロナウイルスの影響により、例年通りの大会にはなりません。それでもリモートという形で貴重な体験をさせてくださった金融知力普及協会の皆様、対戦してくださった出場者のみなさん、第四北越銀行をはじめ応援してくださった方々、そして共に戦ってくれた窪田君、本当にありがとうございました。来年もまたこの場に来れるよう頑張ります。





北陸銀行

富山大会

12月13日(日)開催

主催 北陸銀行
 参加校一覧 富山国際大学附属高等学校、富山県立南砺平高等学校、富山県立富山いずみ高等学校、富山県立富山中部高等学校、富山県立富山南高等学校、富山県立富山高等学校、富山県立高岡商業高等学校、富山県立高岡高等学校、富山高等専門学校 射水キャンパス、片山学園高等学校、高岡龍谷高等学校
 申し込みチーム数 18チーム (11校)

優勝チーム 富山県立富山高等学校 [1512]



全国大会感想

富山大会代表 富山県立富山高等学校 1年
 倉光 藍夏

経済分野について基礎から学ぶことができとても良い経験になりました。経済に関する日々のニュースや新聞記事への関心が増しましたし、株価の変動など、なんとなく敬遠しがちだった事柄もより身近に感じるようになりました。経済は私たちの暮らしと深く関わっており、生涯にわたり切っても切れない分野であると改めて実感しました。私は理系なのですが、経済に関する勉強をしたことを全く後悔しておらず、むしろ今後役立つであろう知識を得られたことに大きな価値を見出しています。また、エコノミクス甲子園に出場すると、充実した事前学習教材を無料で手に入れますから、何からやれば良いのかわからず、迷ってしまうことは無いと思います。

富山大会代表 富山県立富山高等学校 1年
 佐山 恵梧

このエコノミクス甲子園で最も良かったことは経済、金融に関する知識が深まったことだと思っています。大会に向けての勉強の中で、この機会でなければ知らずとせず、生きていく上で価値があることを知れたのはこの大会に参加することでしか得られなかったことだと思います。勉強をしていく中では大会から送られた教材がとても役に立ちました。経済のようなよく知られており、社会の関心が高い分野の本は世の中に多く出回っており信用でき、更に、高校生でも理解できる本を見つけるのは難しいです。ただ、送られた教材は分かりやすくつくられており、情報も信用できるものでした。教材が良かったこともあり、経済を学習すること自体も楽しむことができました。経済を学習していくとその世界の広さが分かり、様々な言葉や概念に出会いました。そうしたものを一つずつ理解していくこと自体が楽しかったです。また、学習したことで世の中のことが知れ、ニュースなどが理解できるようになったのも楽しかったです。以上に良かったことを上げましたが、悪かったこともありました。以前に教材が信用できるものだったと書きました。それは自分でも満足していますが、不満なところは教材の情報古いところ。世の中の変化も大きいので、ある程度情報が古くなることはあると思いますが、10年以上も前の情報が載っていたりするのは少し混乱がありました。





北國銀行

石川大会

12月20日(日)開催

主催 北國銀行
 参加校一覧 石川県立金沢商業高等学校、石川県立金沢泉丘高等学校、
 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校
 申し込みチーム数 13チーム (3校)

優勝チーム 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校
 「管義偉」



全国大会感想

石川大会代表
 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校 2年
 暇隆之介

【感想文未提出】

石川大会代表
 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校 2年
 松本賢人

【感想文未提出】





北陸銀行

福井大会

12月13日(日)開催

主催 北陸銀行
 参加校一覧 仁愛女子高等学校、福井県立勝山高等学校、福井県立坂井高等学校、福井県立大野高等学校、福井県立奥越明成高等学校、福井県立敦賀工業高等学校、福井県立敦賀高等学校、福井県立武生東高等学校、福井県立羽水高等学校、福井県立若狭高等学校、福井県立藤島高等学校、福井県立金津高等学校、福井県立高志高等学校
 申し込みチーム数 32チーム(13校)

優勝チーム 福井県立高志高等学校
 「Oasis」



全国大会感想

福井大会代表 福井県立高志高等学校 2年
 竹中俊平

昨年に続けて、二回目の全国大会出場だった。去年は大会一週間前に高熱を出し、欠場。「来年こそは優勝だ!」と一年間友人と勉強したが、なんと初戦敗退。エコノミクス甲子園ではもどかしい思いをすることばかりであったが、得たものは多かったと思う。例えば視野が広がったことだ。私はもともと金融・経済には全く興味がなく、この大会に参加したのは「優勝すればニューヨーク研修」というインセンティブと友人からの誘いがあったからだ記憶している。しかし、はじめはNYにつられて学習していた金融・経済も知識や理解が深まるにつれて苦になることはなくなっていき、むしろ楽しくなっていた。今では将来の進路の候補に経済系の学部が入っているくらいである。特にニュースへの関心や理解度が大きく変わったことは強く印象に残っている。この大会では悔しい思いをすることが多かったが、その経験は自分を成長させてくれたと思うし、大会を通して身に着けた「金融知力」は社会に出たときに大いに役に立ってくれると信じている。

最後になりますが、コロナ禍でも何とか開催しようと尽力してくださったスタッフの皆様、大会に誘ってくれた友人にはお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。

福井大会代表 福井県立高志高等学校 2年
 岡本孟士

私は今回のエコノミクス甲子園では多くのことを経験しました。

まず一つ大きなことは去年病気で交代し、いなかった相手と全国大会に出られたことです。去年は僕たち二人で出ることができずにいたので一年越しに出れるようこの一年頑張ってきました。

大会としてはPBMがまず印象に残っています。PBMでは協力が大事ということでいくつかのグループとは交渉したりDMをしたりしました。しかし他のチームの方の戦略にはまったり借金地獄になったりして経営の難しさを痛感しました。その中ではいくつかのチームと仲良くなりいい思い出の一つとなりました。

次に印象に残っているのはハリハーサルと本番です。この二つで感じたのは学生スタッフの方々の活躍です。仕組みづくりや誘導などつっかえなくスムーズに計画的にされていてまた説明もわかりやすく快適でとても感動しました。本番では僕自身の戦略ミスで一回戦で敗退してしまいやっと出場できた相手には本当に申し訳ないです。しかし勉強の成果は一回戦だけでもクイズの成績やその後の裏クイズ大会での正答率でも感じたので将来の役に立つと信じています。

また最後に印象に残っているのは最後の運営の方のお言葉です。そこでは15回になるエコノミクス甲子園にかかる情熱やこれまでの苦勞そして今回のスタッフの方々の努力を熱く教えていただきました。そのお言葉をいただいた後はこのエコノミクス甲子園に自分が参加させていただくことができたことに感謝し全国大会に出る以前よりも誇りに感じるようになりました。終わった後になってからですが過去の大会について調べるようになり、後輩にも引き継いでいきたいと思います。

最後になりますが今回はこのようなエコノミクス甲子園に参加させていただき本当にありがとうございました。





ふれあい、さわやか
山梨中央銀行

山梨大会

12月20日(日)開催

主催 山梨中央銀行
参加校一覧 北杜市立甲陵高等学校、山梨学院高等学校、山梨県立甲府東高等学校、山梨県立笛吹高等学校、甲府市立甲府商業高等学校、駿台甲府高等学校
申し込みチーム数 28チーム(6校)

優勝チーム 駿台甲府高等学校
「慧可断臂」



全国大会感想

山梨大会代表 駿台甲府高等学校 1年
福田 采笑

この大会に参加するまで、私は経済に特別強い関心は持っていませんでした。部活動の一環としてエコノミクス甲子園に参加することができて、幸運だったと思っています。PBMが特に強く印象に残っています。時には裏切られたり、競合他社の動向を探ったり。とても刺激的な毎日でした。金融の知識やビジネスの手法はもちろんのこと、チームワークやリーダーシップなど、多くを学びました。一緒に戦ってくれた仲間たちには感謝でいっぱいです。

初日に他チームから頂いた提案のお陰で、私たちA-Zマートはみるみるうちに成長し首位に立った、ように見えました。しかし最後は逆転されてしまい、2位でゲームを終えます。ルール理解や作戦に不十分な点があったこと、交渉に積極性が足りなかったこと、など思い出すと後悔が絶えません。自分の未熟さを痛感させられました。

本番では相手に圧倒され、2回戦に進むことはできませんでした。他の参加者の豊富な知識と、そこからうかがえる綿密な準備に、ただ驚くばかりでした。悔しさが残りますが、それも含めて忘れられない思い出です。

最後になりましたが、ボランティアスタッフの方々を始め、コロナ禍の中での本大会の開催にご尽力いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。

山梨大会代表 駿台甲府高等学校 1年
市川 未来

この度は、エコノミクス甲子園に出場させていただき、ありがとうございました。初めてづくしの大会は記憶に残るものとなりました。

オンラインの良さが際立ったのは、地方大会です。周りに誰もいないという環境が、緊張や焦りを覚えることなく落

ち着いた雰囲気でも臨めるようにしてくれました。集中して問題に解答することができたので、着実に正解数を伸ばせたと思います。次々と全国大会出場チームが決定していく中、山梨県代表はどこか他のチームだろうと私は割り切っていました。だからこそ、乾さんに名前を呼んでいただいた瞬間、嬉しすぎて2人で叫んでしまいました。オンラインならではの環境と、勉強を頑張ってきたことが、成果に現れたのだと思います。

その一方で、オフラインでしか叶うことのないことと言えば、高校生同士の交流です。PBMやエコノミカを通じて出会えたたくさんの高校生の方とのひとときはとても楽しかったです。PBMでは2位になってしまい、協力していただいたチームの皆さんに申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、優しく励ましていただき、本番に向け切り替えることができました。エコノミカは対戦はもちろん、ZOOM上での他愛ない話も良い思い出です。それでも、直接会えたらもっと楽しい時間を過ごせたのかもしれないと思うと、ますますオフラインでの開催を願うばかりです。全国大会では実力を発揮できず、悔しい結果となってしまいました。勉強と対策が足りなかったのと、冷静で的確な判断力が必要だったと感じています。この経験をバネにして、新たにできた目標に向かって頑張っていこうと思います。

最後になりますが、このような状況の中でエコノミクス甲子園を開催していただけたのは、スタッフの皆様の並々ならぬご尽力のおかげです。本当にありがとうございました。そして、来年は高校生の皆さん、スタッフの皆さんと直接お会いできますように！





八十二銀行

長野大会

12月6日(日)開催

主催 八十二銀行
 参加校一覧 佐久長聖高等学校、文化学園長野高等学校、松本秀峰中等教育学校、長野清泉女学院高等学校、長野県上田高等学校、長野県小諸高等学校、長野県岩村田高等学校、長野県松本深志高等学校、長野県松本県ヶ丘高等学校、長野県諏訪清陵高等学校
 申し込みチーム数 17チーム(10校)

優勝チーム 松本秀峰中等教育学校
 「ジョン・ナッシュ」



全国大会感想

長野大会代表 松本秀峰中等教育学校 1年
 大房 慧士

昨年、教員からの紹介でエコノミクス甲子園に参加することを決意しました。一時期は新型コロナウイルスの影響で開催されないのではないかと危ぶまれる時もありました。しかし今となっては新しい形式でありましたが開催され、地方大会で優勝できたことに喜びを感じています。全国大会では、事前大会で行われたPBMが特に印象に残っております。色々なチームが利益拡大を目指して様々な戦力をたて、連合を組んだり、買収したり、裏切ったりしながら経営をやっておりました。私たちは4つの高校と連合を組み、そこで他校と様々な戦力を話し合ったのを覚えています。他のグループでは裏切られたとかいう会話を聞きましたが、私たちの連合では最後まで協力して参加できたので、とてもいい人たちと組めたと思えました。1日目に行われたエコノミクス大会ではあまりルールを把握していなかったこともありスムーズに進まないこともありましたが、楽しめたのでよかったです。その後に行われた事前クイズでは地方大会に比べ問題の難易度が高くなっていることに驚きました。本戦では対戦相手とずっと均衡したことを覚えています。ルール上一問でも間違い、相手に取られると不利になりやすいルールだったのでずっと次の問題は間違えられないというプレッシャーがあったことを覚えています。特に、一回戦目の最後の問題が近似値問題で高確率で均衡が崩れると分かったときのことをはっきりと覚えています。他の試合を見ててもわからない問題があり全国大会のレベルの高さが伺えました。来年はこれよりも難しい問題がきても答えられるように頑張りたいと思います。

長野大会代表 松本秀峰中等教育学校 1年
 岡野 伊吹

私はこのエコノミクス甲子園という大会を通じて経済、金融、経営、世界の動向についてたくさん学べたと思う。私は昔から株や経営や仮想通貨などに興味があり、エコノミクス甲子園に出場する前から多少の知識はあった。しかし、事前学習教材のほかにも大会に向けて経済系の本を買ったりインターネットでニュースをみたりして学習をすることによって大会に参加する前とは比べ物にならない知識をつけることができた。また、大会前に行われたPBMというコンビニエンスストアの経営ゲームは物凄いスピードで状況が変化するので大変だったがその分交渉や戦略を実践的に学べてとても楽しかった。お金に関する勉強をこの十代という若い時期にできたということはとても良かった。この大会で得た知識と経験は将来的に大きなアドバンテージに確実になりこの先何十年も役立つことになるだろう。私たちがエコノミクス甲子園の出場することになり周りの友人たちも経済に興味関心を持つようになってくれてとても喜ばしかった。そのうえ大会の後、全国大会出場者と繋かれ新しい友達を作れたこともこの大会に参加してよかったと思えることの一つである。この大会に出場できてとても良かったと思う。今回は二回戦で敗退してしまっただが、私はまだ高校一年生なのでまだエコノミクス甲子園に出場するチャンスが残されている。来年もまたこの大会に出場できるように経済についての勉強をもっとしていきたいと思う。





十六銀行

岐阜大会

12月13日(日)開催

主催 十六銀行
 参加校一覧 中京高等学校、多治見西高等学校、岐阜市立岐阜商業高等学校、岐阜東高等学校、岐阜県立多治見北高等学校、岐阜県立大垣北高等学校、岐阜県立大垣南高等学校、岐阜県立大垣商業高等学校、岐阜県立岐阜北高等学校、岐阜県立岐阜高等学校、岐阜県立池田高等学校、岐阜県立郡上北高等学校、鶯谷高等学校、麗澤瑞浪高等学校
 申し込みチーム数 39チーム (14校)

優勝チーム 岐阜県立岐阜高等学校
 「キスイダイザイケ」



全国大会感想

岐阜大会代表 岐阜県立岐阜高等学校 2年
 永田康史郎

エコノミクス甲子園を通して、生活に広く役に立つ金融知識をつけることができました。銀行のことであったり投資のことであったり、学校に通っているだけでは身につかないような知識をつけることができましたことは喜ばしいことだと思います。お金に関する知識は実生活において知らなければ損しやすく、知っていると思わぬ得をするものだと思います。それなのに普段学ぶことはあまりない学問のひとつです。1年前から対策を積んでいくことで、ニュースで円高か円安かについて報道されていたり、株価の上がり下がりであったり、政府の行う金融政策についてのニュースが少しずつ分かるようになってきました。「もっと多くの人に金融知力をつけてもらいたい」というエコノミクス甲子園の大会主旨が達成されている証拠と言えるでしょう。また、エコノミクス甲子園での勝利に向けて、人と協力することの大切さも分かったと思います。私は第14回大会にも参加をしていましたが、そのときからチームメンバーと問題を出し合ったり、自分の作った問題を親に読んでもらって早押しクイズのように知識が定着しているか試したりもしていました。今回は事前ゲームであるプレイバイメールもあったので、従来のように東京に集まることはできなくてもオンラインで全国の高校生と交流することができたことも今大会の良さだと感じます。そのほかに金融知力カードゲームエコノミカでの対戦もあり、色々な人と関わる機会を提供してもらえたことに感謝しています。総じて、この大会に参加して良かった！

岐阜大会代表 岐阜県立岐阜高等学校 2年
 牧レオナ

このような素晴らしい大会を開いてくださり、ありがとうございました。運営の方々に感謝申し上げます。まず、全国大会に向けてどのような対策をしたかを記します。昨年、全国大会を観戦しに行き、案外事前学習教材からの出題が多いと感じた私は、事前学習教材を仕上げることを第一目標としました。そのために、事前学習教材をすべて一問一答のクイズにしました。合計776問作り、暗記しました。次に、準決勝以降の高難易度問題に対応するため、BSの日経のニュースを1年間かかさず見ました。こうしたニュースや本から得た知識も同様にクイズにしました。合計356問作り、暗記しました。また、YouTubeに公開されていた琉球大学の経済学講義を1年分全て見ました。これは本番にはあまり役に立ちませんでしたが、経済学の良い勉強になりました。一番力を注いだのは多答対策です。OPEC、TPP、EU加盟国の通貨単位、ノーベル経済学賞受賞者などは全て覚えました。しかし、多答問題が大会後半しか出ず、一問も当たらなかったのは残念な思い出です。最後に、感想を記します。全国大会に向けてかなり対策をしてきたと自負していましたが、結果はベスト8。入賞できたことは大変光栄ですが、自分の中では悔しさが残ります。さて、第13回大会の感想文にクイズの大御所、東問さんのコメントがありました。「頂点を目指すものは自覚を持って」と。まさに、その通りだと思います。成績はこの大会の「核」ではないことでしょうか。しかし、我々の対策量と成績をみて、なお頂点を目指すものは自覚を持つことが必要になると思います。皆さんの参考になれば幸いです。





静岡銀行

静岡大会

12月20日(日)開催

主催 静岡銀行
 参加校一覧 加藤学園暁秀高等学校、加藤学園高等学校、富士市立高等学校、沼津中央高等学校、浜松学芸高等学校、知徳高等学校、静岡県立伊東商業高等学校、静岡県立伊東高等学校、静岡県伊豆総合高等学校、静岡県立川根高等学校、静岡県立掛川西高等学校、静岡県立沼津城北高等学校、静岡県立浜松北高等学校、静岡県立浜松商業高等学校、静岡県立清水東高等学校、静岡県立焼津中央高等学校、静岡県立静岡東高等学校、静岡県立静岡高等学校、静岡県立葦山高等学校、静岡雙葉高等学校
 申し込みチーム数 46チーム(20校)

優勝チーム 浜松学芸高等学校
 「メタモン」



全国大会感想

静岡大会代表 浜松学芸高等学校 2年
 安藤 嵩幸

僕は今回のエコノミクス甲子園に参加できてとてもよかったですと思っています。エコノミクス甲子園への参加は今回で2度目です。昨年は地区予選で敗れてしまい全国大会まで行くことができませんでした。経済という分野にもすごく興味があるかと言われるとそうではありませんが去年僕のペアを破って全国に行った相方と事前学習用の教材を頑張って勉強しました。

大会一日目はエコノミカ大会でした。今回はオンラインでの開催だったためペアで相談しながらの対戦でした。カードゲームを2人で話し合いながらやるのは初で少し大変でしたが、楽しめてさらに勝つこともできてよかったです。また、このとき対戦した高校の人たちとは本戦の待機中オンラインで、ですが話す事ができて仲良くなれたのでよかったです。事前クイズでは思っていたよりもわからない問題が多く出題され全国大会の難しさを改めて実感しました。2日目はいよいよ大会本番でした。今回はオンラインだったため敗者復活がなく一戦一戦とても緊張して望みました。自分が対策してきたところがあまりでなくて相方にかなり迷惑をかけてしまいました。また、事前の順位は真ん中より少し下くらいだったのでまさか決勝までいけるとは思っていませんでした。決勝では前日仲良くなれた人たちとの対戦だったので負けてしまいましたが楽しく記憶に残る大会となりました。

今まで深く勉強したことのなかった金融・経済についての勉強は良い経験になりました。貴重な経験をありがとうございました。

静岡大会代表 浜松学芸高等学校 2年
 窪野 拓

事実は小説より奇なりとよくいうが、エコノミクス甲子園もその形容が当てはまるものの一つだ。

当初私は、今年はオンライン開催であるから、昨年の全国大会のように他県の代表チームと交流することはないだろうと思っていた。だがスタッフの皆さんの尽力によってカードゲームや待ち時間などに多くはないがの代表チームと交流する事ができた。これだけでもとても嬉しい事である。さらに、驚くべき事に交流した中に後の第15代王者がいたのだ。自慢する訳ではないが私は準優勝のチームだ。つまり決勝で当たる2チーム同士が事前に交流があったというわけだ。少年漫画にありそうな展開だと思う。オンラインでなくてはこのような偶然もあり感慨深いものではなかっただろう。とても運命めいたものを感じる大会だった。そもそも、クイズというものは一種のゲームでありどれほど頑張っても遊んでいるという見方をされることがある。私も周りからそのような類の事を言われたこともあった。でもエコ甲に出たらそんな事どうでも良くなった。エコ甲には全力で戦うチームメイトがいる。エコ甲には1番を目指して競い合うライバルがいる。エコ甲には私たちに何とかしてクイズをさせんとする大人達がいる。ただの遊びがここまで熱を帯びることなどないだろう。奇妙なことにエコ甲よりも規模が大きく世間の注目度が大きい部活動の大会や発表会は中止となる中エコ甲はしっかり開催できている。ひとえにスタッフの方々の努力の賜物であろう。関係のあるスタッフの方全てに深く感謝いたします。エコノミクス甲子園のある高校生活が送れて本当によかった。



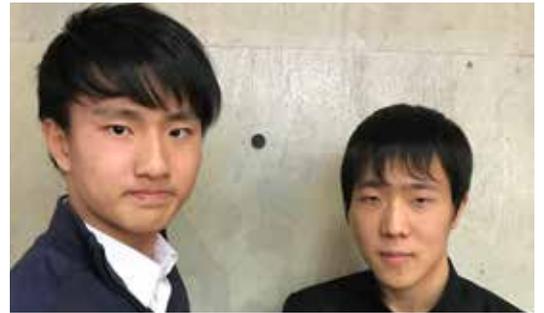


愛知大会

12月13日(日)開催

主催 愛知銀行
 参加校一覧 名古屋大学教育学部附属高等学校、名古屋市立向陽高等学校、名古屋高等学校、愛知啓成高等学校、愛知県立一宮高等学校、愛知県立刈谷高等学校、愛知県立小牧南高等学校、愛知県立旭丘高等学校、愛知県立時習館高等学校、愛知県立木曾川高等学校、愛知県立江南高等学校、春日丘高等学校、東海高等学校、海陽中等教育学校、豊川高等学校
 申し込みチーム数 27チーム (15校)

優勝チーム 東海高等学校
 「鉄壁」



全国大会感想

愛知大会代表 東海高等学校 1年
 滝川 喜彬

エコノミクス甲子園に出て、1番思うのは出場して良かった—ということ。まず出場して相手とのたくさんの思い出が出来ました。惜しくも初戦敗退してしまいましたが、相手と距離が近くなったような気がします。また、ほかに良かったのは、何より経済の知識を増やす事が出来たことです。将来経済の知識が1番使うと思っているので、経済に少しでも詳しくなれたのは大きな財産だと思います。エコノミクス甲子園のおかげで、経済のニュースの理解度も大変深まったように感じます。エコノミクス甲子園に出たことにより、また、普段は出来ないような他学校との交流をすることが出来ました。初めて話す人とたくさん話して親睦を深め、互いの事を知り合い、深め合うことは大変楽しかったし、有意義な時間だったと思います。来年もまた挑戦出来たらしたいと思います。次はもっと勉強して挑みたい。このような機会を作っていただき本当にありがとうございました。

愛知大会代表 東海高等学校 1年
 西原 大基

かねてより、経済や金融について興味を持っていました。学校の掲示板に貼ってあるポスターで大会の存在を知り、友人の滝川君を誘い参加しました。今年はオンラインでの開催でしたが、大会を支えて下さる大学生スタッフの皆さんや全国のハイレベルな高校生たちと交流できたことは大変有意義なものとなりました。今年で15回目の開催ということでしたが社会人として活躍している歴代の先輩たちの参加などエコノミクス甲子園の縦横のつながりを感じました。経済金融を無料で配布されるテキストによって体系的に学べたということも大きな糧となりました。大会に向け勉強を進めていく中で習得した知識を通して、よりマクロな視点で世の中を見ることが出来るようになった気がします。エコノミクス甲子園はペアでの参加ですが、この点においてもいい思い出ができました。1つの、結果が明確に出る戦いに、共にチャレンジしたことは最高の思い出となりました。僕たちが大人になった時も2人の思い出の一つとして話題になることは間違いないです。成績こそ振るわなかったものの大会終了時には大きな満足感と達成感を確かに感じました。大会2日を楽しむことができました。今回、大会を開催して下さった銀行の皆様や協会、スポンサーの皆様への感謝の気持ちでいっぱい。本当に参加することができて良かったです。ありがとうエコノミクス甲子園！！





百五銀行

FRONTIER BANKING

三重大会

12月20日(日)開催

主催 百五銀行
 参加校一覧 セントヨゼフ女子学園高等学校、三重県立みえ夢学園高等学校、三重県立伊勢高等学校、三重県立四日市商業高等学校、三重県立四日市西高等学校、三重県立四日市高等学校、三重県立川越高等学校、三重県立津西高等学校、三重県立津高等学校、暁高等学校、近畿大学工業高等専門学校
 申し込みチーム数 16チーム (11校)

優勝チーム 暁高等学校
 「チーム田中」



全国大会感想

三重大会代表 暁高等学校 2年
 高橋 葵

新型コロナの影響で学校外でボランティアとして参加を決めていたイベントは悉く中止に。何かしたい気持ちはあるのに何もできない。私は、悶々とした日々を過ごしていた。そんなある日、学校からエコノミクス甲子園の案内があった。「経済苦手だからな。出場はちょっとな…」正直なところ、最初は出場する気が全くなかった。だがその翌日、先生の言葉で考えが180度変わる。「高校生のうちから経済を真剣に学ばなかったのを先生はすごく後悔してる。学ぶチャンスがある君たちが羨ましい。」これを聞いてすぐ友達を誘い、出場を決めた。それからは事前教材を使ってお互いに説明しあって覚えあったり、自分で言葉の意味を説明して暗記していき、結果地方大会を優勝することができた。苦手を克服できたことは勿論、優勝できた時の嬉しさと言ったら、言葉にできるものではなかった。そして次は全国大会。また別の教材が届いた。この頃には経済について学ぶことが楽しくて仕方なくなっていた。検定があったり模試があったり考査があったり、エコノミクス甲子園に充てられる時間は限られていたが、それでもなんとか勉強していった。そして本番。全国の高校生の人たちと沢山話した。経済のことは勿論、他の高校の話、色んな話をした。なかなかこんな経験をできることは無いと思う。金融知力を身につけ、交流もできる。そしてなにより楽しい。開催して下さった運営の皆さんには感謝しかありません。これからも経済この事、もっと学んでいきます。本当にありがとうございました！

三重大会代表 暁高等学校 2年
 木嶋 有彩

友人に誘われての参加となりましたが、今回、エコノミクス甲子園に参加することができてよかったです。地方大会への出場を決めた時の私の経済の知識は、ほぼ皆無でした。そのため、事前教材の単語などを、図などにして、仕組みから覚えていきました。また、株や債券に対しては、リスクが大きいという意識から、今まで全く興味が湧きませんでした。勉強する中で、そのメリットとデメリットを大まかに把握することができたので、今後、少しずつやっていきたいと思いました。この大会を通じて思ったことは、知ることは、大切だということです。お金という生きる上で、非常に大切なことを考えずに生きてきたというのは、恥ずかしいと思いました。地方大会は、知識の浅さから、決して優勝はできないと思っていました。なので、優勝が決まったときは、嬉しいという感情よりも先に、驚きでいっぱいになったことを、今でも覚えています。地方大会が行われたときには、冬休みに入っていたのですが、大会が終わると、「おつかれさま」「おめでとう」というメッセージが入っていて、その送ってくれた友達の優しさを感じ、その時初めて、優勝したんだという実感が湧いてきました。全国大会は、惨敗でしたが、エコノミカでは、2勝することができ、嬉しかったです。また、全国の高校生と関わる機会はほとんどないので、今回、お話しすることができて、非常に有意義な時間が過ごせたと思います。友人に誘われての参加という、あまり堂々とは言えない理由での参加でしたが、これからの人生にとって必要なことをたくさん知れたと思うので、参加できてよかったです。





中国銀行

岡山大会

12月13日(日)開催

主催 中国銀行
 参加校一覧 岡山学芸館高等学校、岡山白陵高等学校、岡山県立倉敷天城高等学、岡山県立倉敷鷺羽高等学校、岡山県立岡山南高等学校、岡山県立岡山操山高等学校、岡山県立岡山東商業高等学校、岡山県立笠岡商業高等学校、明誠学院高等学校、玉野市立玉野商工高等学校
 申し込みチーム数 36チーム(10校)

優勝チーム 岡山白陵高等学校
 「キングとポッター」



全国大会感想

岡山大会代表 岡山白陵高等学校 1年
 矢吹優芽

私がエコノミクス甲子園に参加しようと思ったきっかけは友達と思い出を作りたいという本当に何気ないものでした。地方大会も経済の勉強は一夜漬けで勉強しただけで、全国大会に出場することができたのは正直運要素が大きいと思います。でも、全国大会に参加するからには何か結果を残したいと思い、全国大会出場が決まってからは毎日放課後に友達と一緒に経済の勉強をしました。最初は経済のことが全く分からなくて事前学習教材を読むのも一苦労でしたが、日が経つにつれて新聞やニュースを見てその内容を理解できるようになり、勉強のやりがいを感じるようになりました。

全国大会前、私たちは2週間にわたって開催されたPBMにも参加しました。PBMは、何より他県の優秀な高校生と交流ができたのがとても刺激的でした。

全国大会前日には事前クイズとエコノミカ大会があったのですが、事前クイズは全く解けず、翌日一問も解けなかったらどうしようと、とてつもない緊張と恐怖に襲われたのを覚えています。でも、リハーサルの時に誘導ルーム3の他県の高校生の方々と楽しくお話ししているうちに、その緊張はほぐれ、全国大会という場を楽しめるようになりました。

そして迎えた全国大会当日。誘導ルーム3にまた戻ってこれますように、と願って臨みましたが、僅か2点及ばず初戦敗退となってしまいました。とても悔しかったけれど、自分がどれだけ何も考えずに生きているかということ学ぶ良い機会になりました。全国大会で結果を残すことはできなかったけれど、この経験を糧にしてこれからの1年間日々努力し、また来年この舞台上で活躍できたらと思っています。

最後にコロナ禍の中でエコノミクス甲子園を開催して下さった沢山のスタッフの皆様、応援動画などで私たちを支

えてくださった中国銀行の皆様、そして画面越しではあったけれど、共に戦ってくれた全国の高校生の皆さん、素晴らしい時間を本当にありがとうございました。

岡山大会代表 岡山白陵高等学校 1年
 堀井沙綾

私は数か月前まで、経済の知識など一つもなければ、エコノミクス甲子園に興味も抱いていなかった。ところが、友人に誘われ大した勉強もできていないまま臨んだ地方大会で運良く全国大会への切符を手にすることができ、今ではエコノミクス甲子園が高1の一番の思い出となっている。

私が今回の全国大会で最も印象に残っているのは、大会本番前に約2週間にわたって開催されたPBM(プレイバイメール)である。これは、各チームが外資系コンビニチェーンとなり、メールで互いに連絡を取り合うことで他社と協力し時には出し抜き、資産額一位を目指すというものであった。ところがこれが、想像以上にハラハラした心理戦だったのである。特に最終日には、各社がはったりをかけたり裏切りをしたりと様々な手段を用い、ふたを開けるまで結果がわからない大混戦となった。私たちも最終日には必死に頭を悩ませながらゲームに勝つための方法を模索し、結果資産額一位の企業体の一員となることができた。オンラインでつながった高校生と協力して勝てたときの喜びは格別であった。このゲームを通して競争市場の厳しさや他者との交渉の難しさを学び、また様々な高校生とオンラインとは思えないほど交流することができたことは、忘れられない思い出となったと同時に、必ず今後の糧となるだろう。

PBMのことばかり熱く話していることからお分かりだろうが、全国大会では一回きりの勝負であっさり負けてしまった。敗者復活の機会が一度もなかったのは少し残念だが、全て自らの準備不足が原因である。この反省を胸にまた勉強を重ね、来年こそは優勝を手にした。

最後になったが、コロナ禍にも関わらずエコノミクス甲

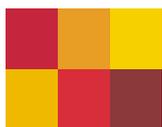


地方大会 *Local competitions*



子園を開催してくださった金融地力普及協会の皆様、温かく応援し支えてくださった中国銀行の皆様、オンラインではあったが親しく交流してくださった高校生の皆さん、そして私をこの素晴らしい大会に誘ってくれた相方の矢吹さんには、深く感謝している。本当にありがとうございました。
来年、戻ってきます。





もみじ銀行

広島大会

11月29日(日)開催

主催 もみじ銀行
 参加校一覧 AICJ 高等学校、ノートルダム清心高等学校、崇徳高等学校、広島なぎさ高等学校、広島城北高等学校、広島大学附属高等学校、広島学院高等学校、広島市立基町高等学校、広島桜が丘高等学校、広島県瀬戸内高等学校、広島県立尾道商業高等学校、広島県立広島高等学校、広島県立広島高等学校、福山暁の星女子高等学校

申し込みチーム数 21 チーム (14 校)

優勝チーム 広島県立広島高等学校
 「ひよこシャフト」



全国大会感想

広島大会代表 広島県立広島高等学校 1年

下 久 晃

エコノミクス甲子園に出場して、私の中で新たに二つの考えがうまれた。一つはこれからも自身の金融知力を強化していきたいということ、もう一つは身につけた知識を使って新しいことに挑戦したいということだ。これらの考えを持つに至った経緯、そして今後の展望をのちに記したいと思う。

まず、さらに知識を得たいと思ったことについてだ。私はこの大会に参加する前には金融や経済についてほとんど興味をもっていなかった。だからこそ、大会に向けて学んだ過程は驚きの連続であった。学んでいくうちにそれらの知識の重要性について理解することができた。よりよく今を生き、未来で目標を達成するにあたって、金融知力は大きな助力となる。したがって私は、より高度な知識をこれからも求めていこうと思う。

次に、金融知力を駆使した、新たな挑戦についてだ。私はアプリ開発を趣味にしている。アプリ開発はさまざまな段階に分けられるが、その中でも構想を練るときには自分の中にある知識が豊かであるほど、完成品の質が上がる人が多い。私は今回の大会を通して、自分の中に新しい知識の引き出しを作ることができた。今後、経済・金融の知識を絡めた面白いアプリをつくっていこうと思う。金融知力にうけたインスピレーションは計り知れない。

このように、今回の大会は私に変化を与えた。金融知力そのものを身につけてより高度な学びをすること、身につけた金融知力で新しいことに挑戦すること、エコノミクス甲子園のお陰で新たな道がひらいたように感じる。



広島大会代表 広島県立広島高等学校 1年

太尾田 誠人

私たちがエコノミクス甲子園に参加しようと思ったのは、中学校3年生のことです。

クイズが好きだった私は、知識を問われる大会に参加したいと思っていました。

エコ甲の存在を知ったその日に下久くんをペアとして誘い、彼は快諾してくれたのでそこから大会に向けて勉強を始めました。

今でも知らないことは多いですが、まだ学校でも経済について触れていないような無知な状態からここまで成長できたのは、偏に彼のおかげかなと思います。

大会について、コロナ禍ということもあり、初めてのオンライン開催でしたが特に不自由もなく、充実した二日間でした。

今回の大会に参加して得たものは金融知力だけではありません。

私たちの仲が深まったのはもちろん、(ズームの)控え室では他県の代表の方とも親交を深めることができました。同じ組だったグループ8のメンバーには感謝したいです。

自分達だけではなく、お互いの勝敗に一喜一憂したり応援しあったのは本当に楽しかった。

最後に、エコ甲の開催にあたり、大会の準備・運営をしてくださった学生スタッフの皆様、全ての関係者の方々には最大限のお礼の言葉を伝えたいです。本当にありがとうございました。

皆さんの姿を見て、第18回大会からは私もスタッフになりたいなと思いました。

来年は現地で開催できることを祈っています！





山口大会

11月29日(日)開催

主催 山口銀行
 参加校一覧 下関市立下関商業高等学校、宇部工業高等専門学校、山口県桜ヶ丘高等学校、山口県立周防大島高等学校、山口県立山口高等学校、山口県立岩国商業高等学校、山口県立岩国高等学校、山口県立柳井商工高等学校、山口県立防府商工高等学校
 申し込みチーム数 18チーム(9校)

優勝チーム 山口県立山口高等学校
 「日替わりランチ」



全国大会感想

山口大会代表 山口県立山口高等学校 2年
 戸井大耀

今年初めて全国大会に出場して周りのレベルの高さを肌で実感することができて、とても貴重な経験になりました。日頃は金融のことに特化した勉強をしているわけではないので、新たに始める勉強がとても新鮮で有意義なものになりました。また、全国大会にいろいろな人と関わりを持つことができ、新たな人間の輪が広がったこともとても嬉しいです。

大学生になったら、スタッフとしてもこの大会に関わって行けるのでこれからも金融について勉学に励み、ぜひスタッフとして大会に関わって行けたらいいと思います。

最後にこの大会の運営に関わってくださった多くの皆様、今年は新型コロナウイルスで大会開催が困難と思われる中、どうか私たちのために大会を開催し、成功させようと尽力して下さり本当にありがとうございました。この大会を通して培った経験と人の輪を大切にこれから長い人生に生かしていきたいです。

本当にお世話になりました。



山口大会代表 山口県立山口高等学校 2年
 田中聖子

私がエコノミクス甲子園に参加してよかったことは二つあります

まず1つは金融や経済の知識を得て将来どう生きるか考える機会となったことです。送られてきた教材で勉強することで全く知らなかった保険や株などの資産運用や経済の動きなどについて深く知ることができました。社会人として生きるためには確実に必要な知識なのでそれを高校生のうちに楽しく勉強できてよかったです。

二つ目は、人とのつながりができたことです。全国大会では、この大会に出場しなかったら絶対に関わる機会がなかっただろう全国の高校生たちと出会うことができました。そもそも全国という場所で戦うのも得難い経験ですが、向上心がある同年代の方々と出会うことも自分の刺激となり成長のきっかけにもなります。大会が終わった後、PBMに参加した高校でLINEグループを作ったのですが他の方々の幅広い知識と、社会に対する強い関心を持ち、学び続ける姿勢はすごいなと思いました。

今年は初めてのオンライン大会でいろいろ難しいこともあったのですがとても楽しかったです。自分たちのチームは一回戦で負けてしまってとても悔しかったです。でもそのあと敗者部屋のスタッフの田村さんや他の高校の方と雑談したり、クイズを解いたりしてとても楽しい時間を過ごすことができました。来年は参加できず残念ですが、大学生になったらスタッフとして大会運営に携わりたいです。エコノミクス甲子園に出場できて本当によかったです。すごく楽しかったです！ありがとうございました。



阿波銀行

徳島大会

12月12日(土)開催

主催 阿波銀行
 参加校一覧 徳島市立高等学校、徳島県立城ノ内高等学校、徳島県立城東高等学校、徳島県立徳島北高等学校、徳島県立脇町高等学校
 申し込みチーム数 7チーム (5校)

優勝チーム 徳島県立城東高等学校
 「人々文々」



全国大会感想

徳島大会代表 徳島県立城東高等学校 2年
 大久保杏咲

遡ること一年前の地方大会、私たちのチームは首位を走っていたにも関わらずラスト二問で逆転負け。掴みかけていた全国大会へのチケットは指先をかすめて逃げていきました。それから一年間、全国大会に出場した先輩から教材を借りたり、経済のクイズの問題を集めたりしました。しかし、「鉄は熱いうちに打て」というのはこういうことなのでしょう。地方大会から時間が経つにつれて経済の勉強への意識は薄れていってしまいました。

今年得られた結果は運が良かったのだと思います。地方大会はクイズではなく小論文に助けられて優勝。来る全国大会はたまたま知っている問題ばかりが出題されました。故に、ベスト16だったという実感はあまりありません。エコ甲は驚くほどあっという間に過ぎ去ってしまったように思います。

去年とは違う種類の悔しさが今の私の中にはあります。PBMの優勝を逃してしまったことも、大会は一勝で終わってしまったことも、「もっとできることはあったのに」という後悔ばかりが募ります。しかし、悔しさと同時に楽しかったという気持ちで埋め尽くされているのもまた事実です。普段は触れ合う機会のないような他の都道府県の高校生と話し合い、騙し合い、知力を競い合ったこの何週間かはとても良い経験になりました。私にとって大きく成長できた時間でした。この経験を糧にして、もっと自分自身を成長させていきたいと思っています。

最後になりますが、私たちを支えてくださった皆様、本当にありがとうございました。

徳島大会代表 徳島県立城東高等学校 2年
 中村悠実

「ピンポン、ピンポーン」という正解音は歓喜を、「ブブー」という不正解音は落胆を、それぞれ私たちにもたしました。実は夢だったんじゃないか、と感じるほどに一瞬で過ぎ去ってしまった濃密な2日間を私はこの先、忘れることはないでしょう。

私たちが全国大会で一勝し、ベスト16に入れたのは、運が良かったからだと思います。分からなかった法人税率の近似値問題を0.3%の誤差で答えられたことは奇跡と言っても過言ではありません。しかし、奇跡はそう連続して起こりません。二回戦では基本的な知識の差を突き付けられました。

事前に行われたPBMは中盤以降、同盟と裏切りが混じり合う混沌とした状態でした。自分たちのチームが勝つためには、だれを信頼し、だれを裏切ればいいのか、非常に難しい判断が必要とされました。私は、ゲームとはいえ「人を裏切る」ということが精神的に辛く、途中でゲームをやめて相方に任せました。しかし、実際の企業間でも行われているであろうことを少しでも体験できてよかったです。

自分の努力不足で勝ち進めなかったことも含め、今大会でのすべての経験を糧にして成長していきたいです。また、今大会で得た他大会代表の仲間とのつながりを大切にしていきたいと思っています。これからも、経済の勉強を続けていきたいです。

最後に、私たちを支えてくださった皆様、コロナ禍であってもオンラインで開催してくださったスタッフの皆様から感謝します。本当にありがとうございました。





いい出会い ふくらむ未来

百十四銀行

香川大会

12月20日(日)開催

主催 百十四銀行
 参加校一覧 香川県立丸亀高等学校、大手前丸亀高等学校、香川県立観音寺第一高等学校、香川県立高松桜井高等学校、香川県立高松高等学校、香川高等専門学校 高松キャンパス
 申し込みチーム数 13チーム (6校)

優勝チーム 香川県立丸亀高等学校
 「チョコマドレーヌ」



全国大会感想

香川大会代表 香川県立丸亀高等学校 1年
高田 絆里

僕は今回、新聞でエコノミクス甲子園のことを知り、経済学部志望の友達を誘って参加することを決めました。なぜ参加しようと思ったかということ、一つは株に興味があったからです。父が少し株をしており、小さい頃から株というもの身近にありました。また、買い物など、身の回りに経済が関係することは意外と多く、実生活に生かせるのではないかと考えたからです。

事前教材をすることで、国内経済の基本を学ぶことが出来ました。これまであまり気にしてこなかった株価の変動要因や、政府の経済政策の効果などを知り、これまで以上にテレビや新聞に関心が向くようになりました。

そして、本番。自分が対戦している時は思いの外緊張して、上手く答えることができず、悔しい思いをしました。本番の問題は、地方大会と比べて難しく、幅広い知識も求められていて、まさに「金融知力」が必要なのだと感じました。また、歴代の優勝者を呼ぶなど、オンライン開催だからこそ出来ることもあって、対戦前後で観戦しているだけでも十分楽しむことが出来ました。学校の方針上、三年生にならないと政治経済を取ることができないため、今大会はとても良い経験になり、更に政治経済に興味が増えました。

今回は一回戦敗退という悔しい結果になってしまいましたが、これから勉強を重ねて、来年こそは優勝できるように頑張りたいと思います。最後に、コロナ禍で大変な状況の中、今大会を開催して下さった運営の方々に感謝をしたいと思います。本当にありがとうございました。

香川大会代表 香川県立丸亀高等学校 1年
中川 壘斗

高田さんに誘われて参加した、香川県予選大会。2人で、「出るからには優勝を目指そう」と軽い気持ちで話し合ったのを覚えている。

本番に向けて勉強をしていると、難しい単語が多く出てきて、困った場面も多かったが、2人で切磋琢磨し全国大会に出場することができた。正直今回は、オンライン開催ということで物足りないだろうと思っていた。しかし、zoomを使って他校の人たちと話すことができたり、カードゲームができたりと前日から楽しかった。そして、全国大会の前に行われたPBM。実際に自分たちで会社を設立し、利益を出すということは想像以上に難しかった。毎日、高田さんと話し合い、その時々的情勢に対してどのように対処するかと考え、他校の人と協力をしたりもした。そして、迎えた本番。僕たちは、全国大会(事前クイズも含む)の厳しさを知った。それは、自分たちの情報量(勉強量)が少なかったため、答えられない問題も多かったことだ。難しいクイズをあたかも簡単そうに答える全国の猛者たちに感銘を与えられた。これも見て来年は、もっと勉強して全国大会に出場し、この人たちのように自分もなりたいと思った。最後になりますが、今回コロナ禍で非常に開催が難しかったはずなのに、非常に多くの方々の手によってこのような素晴らしい機会を僕に与えていただきありがとうございました。分からないことが有れば一つ一つ対応してくれたおかげで最後まで楽しんで参加することができました。参加して良かったと思うことは、参加する前よりも経済の面から、今不景気によって、どのように困っている人がいるかというようなことも考えられるようになり、僕ができることを行動に移していかなければならないなという思いが強く湧いてきたことです。最後に、本当に今回はお世話になりました。





伊予銀行 IYO BANK

愛媛大会

12月6日(日)開催

主催 伊予銀行
 参加校一覧 愛媛県立松山西中等教育学校、愛媛大学附属高等学校、
 愛媛県立松山東高等学校、愛媛県立宇和島東高等学校、
 愛媛県立松山商業高等学校、愛媛県立三崎高等学校、愛
 媛県立南宇和高等学校、愛媛県立今治西高等学校、愛光
 高等学校
 申し込みチーム数 17チーム(9校)

優勝チーム 愛媛県立松山東高等学校
 「ペルソナ」



全国大会感想

愛媛大会代表 愛媛県立松山東高等学校 3年
 入山七海

私は幼稚園からの幼なじみと3年間出場し、3年目にしてやっと地方大会優勝を勝ち取った。

高校一年生の時何気なく廊下に貼ってあったポスターに目を留め、出場を決めた。結果は予選敗退。大会でのクイズを通して、もっと経済や金融について学びたいと思うようになり2年生での出場を決めた。事前教材のみを隅から隅まで読み通したりして対策した。結果は地方大会3位。私の対策の甘さと未熟さを実感した。「来年は受験だから出場は難しいかもね」と話していたがどうしても諦めきれず、ペアの子にお願いして3年生での出場を決めた。事前教材はもちろんのこと、図書館で本を借りて基礎から学び直したり、インターネットを利用して時事問題の対策をしたりした。ノート1冊分の一問一答も作った。テレビを見ると、学んだ金融用語がでてきて、嬉しくなることが度々あった。

迎えた、高校最後のエコノミクス甲子園。悩んでしまったところも多少あったがペアの子と協力し、地方大会で優勝することができた。全国大会1日目はエコノミカ対決でグループで優勝することができた。もちろんカードゲームは楽しかったが、初めて顔を合わせて(パソコンを通してだが)ライバルと会話をしたのもとても楽しかった。2日目の本戦では負けてしまったが、負けたあとも敗者ルームでクイズを解いてとても充実した全国大会となった。

最後に、この大会の運営に関わった全ての関係者の方々、素晴らしい大会を開催していただき本当にありがとうございました。



愛媛大会代表 愛媛県立松山東高等学校 3年
 井上博裕

「ひと夏の思い出」という言葉があるのなら、私にとってエコノミクス甲子園(以下エコ甲)は「三冬の思い出」となるだろう。そう言える程怒涛だった三年間の記録を記そうと試みたが、それを書くには600字程度は少なすぎたため今年のことについてだけ話そうと思う。正直、3年になった私は今年の参加についてかなり悩んだ。1年の初参加から優勝目指して頑張ってきたエコ甲を簡単に終わらせていいものか。漢なら最後は優勝して笑って終わらせるべきではないか。そんな気持ちもあったが最後の決断としては、七海(この方とエコ甲を三年間共にした。心からありったけの感謝を)とやっぱりクイズをしたいと思ったため参加することにした。結果、愛媛大会では3年目にして初めての優勝。めっちゃ嬉しかった。全国大会では一回戦で負けたがエコ甲の三年間全てを出すことができたと思いたい。絵しりとりや敗者部屋でのクイズなど、今回のZOOM形式だから出来たこともあった。それらを通しての全国の人たちとの交流はとても貴重なものだった。この出会いを、この関係を大切にしていきたい。皆、エコ甲はすごいぞ。最後になったがエコ甲スタッフ様はじめ、伊予銀行様、全国にいるエコ甲参加者、スポンサーの方々にはたくさんお世話になった。一番エコ甲を楽しめたのは自分達のペアと言えるほどこんなにエコ甲に燃えれたのは、この方たちの存在があってこそだ。本当にありがとうございました。





北九州銀行

福岡大会

12月6日(日)開催

主催 北九州銀行
 参加校一覧 福岡工業大学附属城東高等学校、福岡雙葉高等学校、福岡県立東筑高等学校、福岡県立小倉高等学校、福岡県立北筑高等学校、福岡県立八幡高等学校、福岡県立宗像高等学校、福岡県立小倉南高等学校

申し込みチーム数 17チーム(8校)

優勝チーム 福岡県立宗像高等学校
 「サードライヒ」



全国大会感想

福岡大会代表 福岡県立宗像高等学校 2年
 林 宏 輝

エコノミクス甲子園福岡大会の申込締切日の二週間前まで、私はこの大会の存在を知らなかった。友達が運営しているあるウェブサイトを通じてこの大会を知り参加を即決。いつものように友達たちを半ば押しつけ(?)のような形で巻き込んだ。学校の定期考査とも重なり、対策期間は1週間のみ。毎日放課後遅くまで学校に残り、家に帰ってもZoomで対策会。ひたすら詰め込みの日々だった。

12月6日、迎えた福岡大会本番当日、小論文、総合部門で二冠達成。我を失って喜んだのを鮮明に覚えている。この優勝の瞬間を、相方、共に福岡大会に参加した森山田チームと迎えることができ感無量だった。あの日のお好み焼きは美味しかった。

エコノミクス甲子園全国大会当日はあっという間にやってきてあっという間に終わってしまった。初戦敗退。対戦相手は優勝校。圧倒的な強さには流石としか言いようがなかった。全国大会でのクイズは一試合だけであったが私にとって非常に良い経験となった。この日のお好み焼きも美味しかった。

今大会はオンライン開催であったが、PBM、エコノミカ大会などの事前大会も通して出場者同士で仲を深めることができ非常に実り多いものとなった。エコノミクス甲子園を通じて経済の知識だけでなく、様々なつながりが生まれ深まった。この素晴らしい大会での学びを将来につなげられるよう努めていきたい。

エコノミクス甲子園には感謝しかない。エコノミクス甲子園第十五回大会に参加した全出場者。コロナ禍であるにもかかわらず開催して下さったエコノミクス甲子園運営の方々。福岡大会を支えて下さった北九州銀行の方々。小論文指導、当日のサポートをして下さった学校の先生方。応援動画の協力や当日の応援してくれた仲間たち。福岡大会の対策のときから共に頑張ってきた森山田チームの二

人。何より、エコノミクス甲子園と一緒に挑戦した相方。ありがとうございました。「バルチック海運指数」。忘れない。

福岡大会代表 福岡県立宗像高等学校 2年
 樋口 拓 朗

私は今回、幸運にも、初出場にも拘らずエコノミクス甲子園の全国大会に出場することが出来ました。

今回の地方大会では、新型コロナウイルスの影響で、従来の実地開催という形式ではなく、オンラインでの4択問題、小論文、この2つの合計得点で戦うこととなりました。オンラインの開催だったこともあり、比較的気軽に参加することができたと感じています。また、適度な緊張感で臨めたのがよかったと思います。

次は全国大会についてです、全国大会までは、地方大会からおよそ2か月ほどの期間があったのですが、実際に勉強を始めたのは2月になってからで、この空白の2か月を勉強に充てていれば勝利できたのではないのか、と後悔であふれています。後半の問題に関しては、聞いたこともないような言葉ばかりでした。

しかし、この大会に向けて勉強した知識は無駄になることはないでしょうし、これによって日々のニュース等をより理解できるようになったと思います。

しいて希望を挙げるとすれば、1回の敗北で終わり、というものではなく、リーグ制や、敗者復活の手段があれば、さらに楽しめるだろうということです。

今回の大会によって得られた知識は、18歳で成人となる私たちには必要不可欠なものでしょう。後輩たちにも、ぜひ参加してほしいと思える大会でした。

最後になりますが、このような大会に参加できたことにとっても感謝しています。



このまちで、あなたと
佐賀銀行

佐賀大会

12月20日(日)開催

主催 佐賀銀行
 参加校一覧 佐賀県立小城高等学校、佐賀県立佐賀西高等学校、佐賀県立武雄高等学校、弘学館高等学校
 申し込みチーム数 35チーム(4校)

優勝チーム 佐賀県立佐賀西高等学校
 「漫画少女」



全国大会感想

佐賀大会代表 佐賀県立佐賀西高等学校 2年
大串彩夏

私は、去年に引き続きエコノミクス甲子園に出場しました。今年は本戦1回戦で敗退しましたが、楽しく経済を学ぶことができよかったです。エコノミクス甲子園の問題が事前教材以外から出ることもあり、普段よりもニュースに注意を向けるようになり、経済以外の知識も学ぶ機会を得ることとなりました。

また、予選で配布された「今日から役に立つ、経済の読み方と投資の基礎」が分かりやすかったです。

事前教材を使って知らなかった単語や考えを学べましたが、実際に本戦に出場すると新たに学ぶことも多く、まだまだ成長できる伸び代を知りました。今後も精進していきたいと思っています。

佐賀大会代表 佐賀県立佐賀西高等学校 2年
副島千暖

昨年、学校に掲示されていたポスターを見つけ、友達を誘って地方大会に参加しました。全国大会進出は叶わなかったものの、事前に配布される学習教材などが充実しており、楽しみながら金融に関する知識を増やすことができたということが今回の参加につながりました。

同じペアで2度目の出場となった今回は、全力で楽しもうと思っていたら、わずかに1点の差で全国大会への出場が決まりました。思わぬ結果に驚き、大変喜んだことを覚えています。全国大会はやはり地方大会とはレベルが違い、タイムリーなものから専門的なものまでさまざまな問題がありました。残念ながら初戦敗退という結果に終わったものの、当初の目標である、全力で楽しむということは達成できたのではないかと考えています。PBMやエコノミクス大会を通して全国の高校生と交流し、学生スタッフの皆さんとも話して、エコノミクス甲子園での経験が時を経て実際に役立っている様子を見られたことが印象に残っています。大会だけでなく、エコノミクス甲子園に参加すること自体がとても楽しく有意義なものでした。また、大会への参加を通して、いままで敬遠していた金融関連のニュースも注意深くみることができるようになったのも成長のひとつです。エコノミクス甲子園は、経済や金融、保険といった少し敷居の高い分野への関心を高め、気軽に学べる絶好の機会です。より多くの高校生が参加し、佐賀の後輩たちがいつか全国制覇を成し遂げられればいいなとおもいます。最後に、この状況下で、地方大会、全国大会を運営してくださった関係者の皆様に感謝し益々のご発展を願うとともに、この大会が日本でもっと広く知られ、経済や金融に関する教養を十分に備えた若者が増えることを期待しています。





宮崎大会

12月20日(日)開催

主催 宮崎銀行・宮崎太陽銀行
 参加校一覧 聖心ウルスラ学園高等学校、宮崎県立宮崎北高等学校、
 鵬翔高等学校、宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校、宮崎県立
 都城西高等学校、延岡学園高等学校、宮崎第一高等学校、
 宮崎県立宮崎西高校
 申し込みチーム数 15チーム(8校)

優勝チーム 宮崎県立宮崎西高等学校
 [騰]



全国大会感想

宮崎大会代表 宮崎県立宮崎西高等学校 2年
 後藤匠人

今回の大会への出場は私にとって悲願であった。昨年、宮崎大会の予選をトップで通過したが、決勝ラウンドでまさかの逆転負け。そのリベンジを誓い、オンラインの宮崎大会に挑んだ。結果は2位に10点差以上をつけての優勝。優勝が確定した時は二人で飛び上がって喜んだ。全国大会へ向けては事前学習用のテキストを中心に対策を進めた。しかし、前日の4択クイズを終えてやっとテキストだけの勉強では知識をカバーし切れないと気づき、現代社会の資料を利用した学習へとシフトした。驚いたことにテキストの中に出てきた制度が廃止されていたり、新しい制度が導入されていたりと金融知識は刻一刻と変化していることが分かった。もう少し早くこのことに気づけていたらと思う。大会本番は、近似値クイズの結果によって負けてしまい、今回のクイズの醍醐味であるチャレンジ問題を経験できずに終わり、とても残念で味気ない結果となってしまったが、リハーサルやエコノミカ大会、待機時間に普段は話すことのないであろう他県の方々とたくさん交流できてとても貴重で楽しい時間となった。最終的に奨学金もいただくことができて思い出に残る素晴らしい大会であったと思う。

宮崎大会代表 宮崎県立宮崎西高等学校 2年
 久野水葵

【感想文未提出】





鹿児島大会

12月20日(日)開催

主催 鹿児島銀行
 参加校一覧 ラ・サール高等学校、鹿児島県立指宿高等学校、れいめい高等学校、鹿児島県立鶴丸高等学校、鹿児島県立鹿児島南高等学校、志学館高等部
 申し込みチーム数 14チーム (6校)

優勝チーム ラ・サール高等学校
 「色即是空」



全国大会感想

鹿児島大会代表 ラ・サール高等学校 2年
 水足和輝

私は、エコノミクス甲子園の全国大会は今年で2回目の参加でした。
 前回の不満足に終わった結果を踏まえ、今回の大会は後悔を残さないようにしようと思って臨みました。
 地方大会は県内他チームと比べれば余裕を持って勝てたのですが、他県のレベルの高いチームにこのままでは勝てないと思い、不安のある状態での全国大会でした。
 事前クイズは、難易度の高さもあって大いに焦り、凡ミスをしたりもしたのですが、結果は(プレイ・パイ・メールのほうに参加できていなかったことを考えると)まずまずだったかというところです。
 当日は結局昨年度と変わらない2回戦敗退で、自分の時事の把握度の低さを露呈させる結果となってしまいました。しかし、その後延長戦に持ち込み、全力を出し切って粘ることは出来ていたと思うので、後悔はありません。
 最後になりますが、大会運営をしてくださったスタッフの皆様、本当にありがとうございました。回線トラブルへの迅速な対応や、敗退後の「裏エコノミクス甲子園」といった楽しい企画など、大変お世話になりました。
 加えて、チームを組んでくれた相方や、この大会の紹介や参加の補助をくださったラ・サールの先生方など、関わってくださったすべての方への感謝を表して、第15回エコノミクス甲子園の感想文とさせていただきますと思います。本当にありがとうございました。



鹿児島大会代表 ラ・サール高等学校 1年
 下之園文貴

今回、私は第15回エコノミクス甲子園に参加しました。その時の感想を少しばかり書かせていただきます。
 今年この大会に参加したきっかけはクイズ研究部の先輩に誘われたことでした。昨年の全国大会参加者と私がチームを組むことになるとは思っておらず、本当に私でいいのかと荷が重く感じていたのを思い出します。
 そして、地方大会を経て全国大会がやってきました。学校での考査と日程が被っていたので直前までテストを受けてから始まったリハーサル。Zoomでの待機ルームは暁高校、丸亀高校、宮崎西高校と相部屋でした。様々なお話をする中で、私よりも膨大な知識量を持っている同世代が沢山いるということを改めて認識し、大きな刺激になりました。
 いよいよ2日目、大会本番。少しの緊張と楽しみを抱えながら、大会は始まりました。裏で問題を解き、対策を立てているうちに私たちの番が回ってきました。1回戦は何とか勝てたものの、2回戦は大逆転を狙った最終問題も浅野高校に難なく正解され、敗退しました。完敗でした。そのまま敗退ルームに行かされてしまいましたが、そこで過去のエコノミクス甲子園で栄光を掴んだラ・サール高校のOBの方々とお話をすることができ、光栄でした。
 最後になりましたが、ラ・サール高校の先生方やクイズ研究部の皆さん、良い報告ができなくてすみません。しかし、ご協力がなければ私は何もできなかったと思います。ありがとうございました。そして素晴らしい舞台を提供くださった運営の方々、ありがとうございました。この大会を通してかけがえのない知識、友人、思い出を手に入れることができました。一生忘れません。





◎ 沖縄銀行

沖縄大会

12月13日(日)開催

主催 沖縄銀行
 参加校一覧 昭和薬科大学附属高等学校、沖縄県立那覇国際高等学校、
 沖縄尚学高等学校、N高等学校、沖縄陽明高等学校、沖
 縄県立那覇商業高等学校、沖縄県立球陽高等学校、沖縄
 県立首里高等学校、沖縄県立那覇西高等学校、沖縄県立
 普天間高等学校、沖縄カトリック高等学校

申し込みチーム数 32チーム(11校)

優勝チーム 昭和薬科大学附属高校
 「シンバ」



全国大会感想

沖縄大会代表 昭和薬科大学附属高等学校 3年

伊佐知駿

一年前の僕はこんなことをしているとは思っていませんでした。大学入試の10日前にクイズ大会に出場しているとは。地方大会に出場した時も優勝できるとは思っていませんでした。しかし結果を開けてみると二位と1点差で優勝。ただ小論文は19/30(…ん?)と受験生とは思えない成績でした。ま、まあ志望校では課されないで…

大会の前座としてPBMと呼ばれるゲームがありました。参加の可否は自由だったのですが、勢いで参加しました(おい)。ただこれは参加してよかったと思います。いくつかのチームとグループを作っていたのですが、顔も合わせたことのない人がお互い信頼し合って活動できたのはとても面白い経験だったと思います。

大会前日、色々ありましたがその中で一つだけ。オンラインでエコノミカ大会がありました。アプリか何かでやるのかなと思っていると、手元を映し合って対戦するという原始的な方法でした。最初かなりストレスフルで戦いにくかったのですが、慣れてくるとルーズな雰囲気を楽しかったです。

全国大会当日、かなり緊張しました。敗者復活がなかったこともあります。高校三年生、出場する最後の機会です。他の試合をみて知っている問題が出たら「ああ、出てしまった」、知らない問題が出たら「ああ、どうしよう」とどっちにしても落ち着かなかったです。蓋を開けてみればベスト4。沖縄としては過去最高成績で終えることができ一応爪痕を残すことはできたと思います。

さて、あっという間に終わってしまった全国大会ですがとても楽しい大会でした。スタッフさんも楽しんでもらおうと色々がんばってくださっていたのを感じましたし、このような環境の中スポンサーの方々も開催できるよう支援してくださいました。今年までは高校生としての特権を振りかざして楽しませてもらいましたが、来年度からは浪人s

…大学生として自立していかなければなりません。これから先も金融知力を磨いていきたいと思います。

沖縄大会代表 昭和薬科大学附属高等学校 1年

伊佐和花

私は経済の事については学校の公民の授業でしかさわったことはありませんでした。公民の授業の時も、先生が言っていることがあまりうまく理解できずにテスト勉強の時は言葉を形式的に覚え、意味を丸暗記してからテストに臨む、といったようなことを続けていました。それもあって今回、経済の基本的な景気変動の波についても一から勉強しないと全く分からないような状況でした。地方大会の時は兄に誘われたので、エコノミクス甲子園というものがどのようなものなのか気になって参加しただけでした。しかし全国大会出場が決まってから、経済の勉強を家族や友達から応援されながら始めました。経済の本を読むと私が思っていたよりはるかに面白い内容でした。「今の日本の経済はこういう原則がある」「海外との関係においていかにお互いの利益を最大限にできるか」という風な文章を読んでいると自分が賢くなったような気分になりました。こんな学校の授業で習ってないよ!と学校の昔の教材を引っ張り出して中を読んでみるとたくさんの大事なことが書かれていました。前はどこが大事な内容か分からないまま先生の話聞いていたから教材を見ても理解できていなかった所が「分かる」になったことが凄くうれしかったです。勉強を始めてからというもの、ニュースの内容がするすると頭の中に入ってきました。今までもニュースは見ていたはずなのに内容をきちんと理解して見ていなかったのか、と気付かされました。大会が始まってから私は自分の知識の足りなさに気付き、兄の知識量に驚きました。他校の方々も一人一人が凄い力を持っていると感じました。敗者復活がないとのことだったので初戦からすごく怖かったのですが、勝ててすごく安心しました。二回戦、三回戦となんとか寿

地方大会 Local competitions



命を削りながら勝っていき、準決勝まで進むことができました。準決勝で負けてしまった県立千葉高校さんたちはすごく強かったです。でも兄にとっては最後の大会だったので私的にも今回の大会は優勝したかったので悔しい思いでいっぱいでした。ニューヨークへ行くことはできなかったのですが、今回の大会で経済について知ることができました。なにもなかったら経済の勉強をせず、大人になっていた時に後悔していたと思います。まだまだ経済初心者だし、私は全国ベスト4というには知識量が少なすぎます。しかし経済を知るきっかけになりました。物事を理解し、自分のものにしていくのはどの分野においても大変なことだと思います。でも、その物事を理解しようというきっかけ、理由がない限り何も始まりません。だからこそ、エコノミクス甲子園という場を用意し、私たち高校生に経済を知ってもらおうと活動して下さっているスタッフの皆様、本当にありがとうございました。



	131 PT	
① 沖縄銀行 沖縄代表 昭和薬科	-41 PT	G 群馬銀行 群馬代表 中央中等

	138 PT	
① 沖縄銀行 沖縄代表 昭和薬科	-38 PT	住信SBIネット銀行 ネット1代表 開成



0 PT	
0 PT	① 沖縄銀行 沖縄代表 昭和薬科



住信SBIネット銀行

インターネット大会

12月19日(土)開催

主催 住信SBIネット銀行

参加校一覧 N高等学校、N高等学校 代々木キャンパス、三輪田学園高等学校、上野学園高等学校、京都府立嵯峨野高等学校、京都府立洛北高等学校、京都府立福知山高等学校、京都西山高等学校、八王子学園八王子高等学校、兵庫県立三田祥雲館高等学校、利根沼田学校組合立利根商業高等学校、創価高等学校、千葉県立千葉商業高等学校、吉祥女子高等学校、和歌山信愛高等学校、和歌山県立向陽高等学校、和歌山県立日高高等学校、和歌山県立桐蔭高等学校、四天王寺高等学校、国際基督教大学高等学校、土佐塾高等学校、土佐高等学校、埼玉県立熊谷高等学校、大分県立大分豊府高等学校、大分県立高田高等学校、大手前丸亀高等学校、大阪国際大和田高等学校、大阪夕陽丘学園高等学校、大阪府立今宮高等学校、大阪府立夕陽丘高等学校、大阪府立生野高等学校、大阪星光学院高等学校、天理高等学校、奈良学園高等学校、奈良県立奈良高等学校、山形県立山形東高等学校、山形県立東桜学館高等学校、岡山県立倉敷天城高等学校、岩手県立一関第一高等学校、岩手県立岩泉高等学校、岩手県立盛岡北高等学校、岩手県立盛岡第一高等学校、巢鴨高等学校、広島商船高等専門学校、広島市立広島工業高等学校、広島県立広島高等学校、広島県立総合技術高等学校、弘学館高等学校、徳島県立城ノ内高等学校、徳島県立阿波高等学校、愛知啓成高等学校、愛知県立江南高等学校、慶應義塾女子高等学校、新潟県立新潟商業高等学校、智辯学園和歌山高等学校、智辯学園奈良カレッジ高等部、本郷高等学校、松江工業高等専門学校、栃木県立佐野高等学校、栄光学園高等学校、桃山学院高等学校、沖縄県立沖縄工業高等学校、洗足学園高等学校、海城高等学校、淳心学院高等学校、清風高等学校、渋谷教育学園渋谷高等学校、湯梨浜高等学校、滋賀県立守山高等学校、滋賀県立水口東高等学校、灘高等学校、熊本県立熊本高等学校、甲陽学院高等学校、盛岡中央高等学校、神戸女学院高等学部、福井県立敦賀高等学校、福井県立羽水高等学校、福井県立金津高等学校、福岡工業大学附属城東高等学校、福岡県立小倉商業高等学校、福島成蹊高等学校、福島県立会津高等学校、福島県立磐城高等学校、秋田県立秋田高等学校、聖心インターナショナルスクール、聖心女子学院高等科、西大和学園高等学校、豊島岡女子学園高等学校、開成高等学校、開星高等学校、開智高等学校、関西学院千里国際高等部、須磨学園高等学校、高知県立安芸高等学校、高知県立山田高等学校、高知県立高知西高等学校、高輪高等学校

申し込みチーム数 173 チーム (97 校)

優勝チーム 開成高等学校
「ホンクル2」



準優勝チーム 京都府立洛北高等学校
「Soros」





インターネット大会代表 開成高等学校 2年

田野 裕雅

第15回エコノミクス甲子園に出場した中で印象に残った出来事について、以下の通り報告します。

私は今回、残念ながらベスト8という結果に終わってしまいましたが、不思議なことに悔しさはありませんでした。高1の頃、第14回エコノミクス甲子園に参加し、予選で敗退したときは対照的です。

理由としては、わからない問題を答えられずに敗退したからだと思います。高1の時は早押しでお手つきをしまい、その間に我々でも答えがわかるものが出題され、点差をつけられてしまいました。もう少し問題を長く聞いていたら、もっと早押しの練習をしていたらと後悔ばかりが残りました。一方で今回は、エンジェル係数という指標やTPP加盟国がどこの国か知らなかったが故に敗退しました。もちろん学習を進める中で一度でもそのような単語に触れていれば結果は違ったかもしれません。

しかし、それは結局たればの話でしかないでしょう。高1のときは違い、今回は自分の結果を受け止め、対戦校や優勝校を素直に賞賛することができました。私自身、エコノミクス甲子園を通じて成長できたのではないかと思います。

最後になってしまいましたが、休日にリビングを貸してくれた父さん、母さん、ご自宅で勉強会を開かせてくださった重光のご両親、体調が優れない中最後まで見守ってくださった顧問の先生、並びに大会を開催して下さったエコノミクス甲子園の皆様へ感謝申し上げます。そして事前準備から本番まで引っ張ってくれた重光、本当にありがとう。

ネット大会代表 開成高等学校 2年

重光 俊

エコノミクス甲子園の存在を知ったのは、高1の10月でした。「ニューヨーク研修旅行」という文字のインパクトに押され、当時席が隣だった田野とコンビを組み参加しました。

しかし結果は地区大会の決勝も行けずに敗退。しかしその大会の雰囲気がとても心地よく、負けたその日から来年も出場することを決めました。そして今回の地区大会受付開始日、そこに東京大会はありませんでした。そして全国出場のため残された道はインターネット大会のみ。その事実は僕たちを少し躊躇させましたが、金融、経済への探求心が僕たちの参加を後押ししました。そして迎えたインターネット大会当日、誤答を繰り返し、道は断たれたと感じていましたが、蓋を開けてみるとまさかの1位。スマホにテキストが表示され、4択に回答するというオンライン大会の方式が、問読みの早押しクイズ素人の僕たちに有利に働きました。そして全国大会に出場できることになりました。オンラインをいうこともあり、あまり他の高校と交流はできませんでしたが、対戦待ちの間にすこしスタッフの方も交わってお話してきたのは楽しかったです。状況が落ち着いて、皆さんと会えるときが待ち遠しいです。この大会をきっかけにジュニアNISA口座を開設するなど、エコノミクス甲子園は僕に金融経済の知識を沢山教えてくれた場所です。大学生になって、今度は運営としてこの大会に関わってみたいです。





全国大会感想

ネット大会代表 京都府立洛北高等学校 3年
嶋村 悠

今年で三回目の全国大会だった。一年目は「ただで東京に行けるよ!」という先生の甘言に釣られるようにして出場し、たまたま全国への切符を掴めたものの右往左往している間に敗退してしまい、その悔しさをバネにして翌年はしっかり勉強して筆記一位を獲得できた。一区切りつき受験を控えていると言うこともあり、三年目も出場するかは迷いがかなりあったが、オンライン開催で手間があまりかからなそうだったこともあり、補習をブッチして記念出場したところ、またまた運良くネット大会で二位に滑り込み、同級生からの呆れ顔や受験へのやる気を心配する目を向けられながらも(笑)、大会では準備量(お互いに頑張ると押しつけあった結果、双方何もやらなかった)の割りに好成績を残せて喜びよりも驚きが勝っている。

今年の方式は例年よりも運要素が少なく、よりバトルとして観戦を楽しめたし、一年目に僕は必死にマクロ経済学の勉強をしたにも関わらず大会でほとんど出題されなかったことで放心状態となったのだが、一部その分野の出題もあって二年越しの優越感に浸れた。三年間を振り返ってみると、経済学や金融システム、その他諸々の制度への理解が明らかに自分自身の価値観や判断基準の礎となっていることを痛感するし、結構大事なそうしたことを中学生までは別世界のここのようにぼんやり捉えていたことにも恐怖する。これらについての体系的な教育カリキュラムがない中でこの大会に巡り会って学ぶことができたのは、望外の幸せだと思う。エコ甲よ、三年間ありがとう! 願わくは47都道府県全てで地方大会が開催されんことを!



ネット大会代表 京都府立洛北高等学校 3年
川本 青汰

エコノミクス甲子園は、今回が三回目の出場でした。今年のエコノミクス甲子園は今までの二回とは大きく異なった大会でしたが、オンラインでも楽しめるよう工夫が凝らされていて、非常に充実した大会でした。運営スタッフの方々が、コロナ禍の中で開催しようと大変な努力をされていたのだと感謝しています。ありがとうございました。

全国大会というものの大きな意義として、大会がなければ一生会うことがなかったかもしれない人々が集い、濃密な時間を過ごして交流し、大会終了後も大会の時の縁でふとした機会に再会したり連絡を取り合ったりするということがあると思います。今回の大会では、新型コロナウイルスによりオンラインでの開催となってしまって、この点では非常に残念でしたが、しかしエコノミクス甲子園に参加してよかったと思えるような出来事がありました。大会当日、スマホで大会のLIVE配信を見ていたのですが、LINEの通知がきて、見ると去年のエコノミクス甲子園で知り合った人からの応援のLINEでした。私は大変驚くとともに、大会に参加して、人と出会うというのはこういうことなのだと感じました。今年もオンライン開催という形だったので、去年結んだ他校のチームとの再会の約束は果たせませんでした。大会が結ぶ人の縁の重みを感じ、3年間エコノミクス甲子園に参加してきてよかったと心の底から思いました。来年はコロナ禍が収束していることを願うばかりですので、今年も唯一オンラインで開催された、歴史的な大会となると思います。そのような歴史的な大会に参加出来たことは、貴重な体験だと思っています。

今まで参加した三回の大会それぞれに忘れられない思い出があります。また理系の私は、高校1年生でエコノミクス甲子園を知ることがなければ、経済や金融に関してしっかりと学ぶことはなかったと思います。エコノミクス甲子園を開催してくださっている関係者の方々には感謝しかありません。本当にありがとうございました。





1 日目

■エコノミカ大会

今回のエコノミクス甲子園全国大会では、大会初日に「三井住友DSアセットマネジメント杯エコノミカ大会」を開催しました。全国大会に出場する高校生には事前にエコノミカ令和パックを配布しており、それらを用いて多くの高校生に参加してもらいました。対戦相手はランダムで、対戦が終わり次第新たな相手を探してもらうという形式で行い、限られた時間ながら対戦を多くできた高校生が沢山いました。令和パックは従来のスターターデッキよりも分かりやすく簡単なルールであったこともあり、カードゲームをやったことがないという高校生にも楽しんでもらえたと思います。また、対戦を通じて高校生同士のコミュニケーションが生まれているところも見られ、アイスブレイクとしてのエコノミカ大会の意義を感じることができました。

表彰式では、各予選プールの上位入賞者に景品が贈呈されました。三井住友DSアセットマネジメントコミュニケーション推進部部長の伊藤様からは、昨今の世界情勢や、その中でいかに生き抜いていくかといった力強いお言葉、そして高校生への激励を賜りました。社員の方々にも大会中に多大なるご支援をいただきました。末筆にはなりますが、ここに感謝の意を表します。



■事前クイズ

大会1日目の午後からは、全国大会本番に先立って事前クイズを行いました。4択クイズ50問計150点満点のクイズで、正解のときには2点、不正解のときには-1点、無回答の場合には得点の増減がありません。また、各問題において、正解しなかつた解答スピードが早かった上位10チームには、正解の2点とは別にボーナスとしてもう1点が加算されます。事前クイズの結果は、最終順位が同点だった場合の勝利判定や多答問題の解答の順番を決定するのに用いられます。限られた時間の中で相談しながら問題を解き進めることで、よりペアの結びつきが強くなったのではないのでしょうか？



2 日目

■全国大会本戦

オンラインで開催された今大会は2チームの対戦によるトーナメント形式で開催され、全ての試合で同一のルールが使用されました。5問もしくは6問の問題に解答していき、より多い得点を獲得したチームがトーナメントを勝ち上がります。

ルールの特徴として、参加者が見ることができる画面に、次に行く5問のキーワード、種類、難易度が表示されているという点があります。

キーワードは、その問題のジャンルを示すもので、例えば「生命保険」がキーワードであれば、生命保険に関する問題が出題されます。

種類は解答方法を示すもので、4択クイズ・ボードクイズ・並び替えクイズ・近似値クイズ・多答クイズ・ドボンクイズの6種類があります。

難易度は、SMBC日興証券様、マニユライフ生命様にお勤めの方にご協力いただいて測定した、各問題の誤答率を表します。例えば、正答率30%の問題であれば、誤答率は70%となるので、難易度は70となります。この難易度が得点に関わってきます。

また問題には、「ノーマル問題」と「チャレンジ問題」という2つの区分があります。

「ノーマル問題」とは通常時に解答される問題です。画面に表示されている順番に問題が出題され、2チームとも解答します。正解した場合、難易度が得点として正解チームに加算されます。誤答しても減点はありません。

「チャレンジ問題」は「ノーマル問題」で1チームのみが正解した場合、その次の問題が「チャレンジ問題」となります。

「チャレンジ問題」では、直前の「ノーマル問題」に正解したチームが、画面に表示されている5問の中から次に解答する問題を選びます。さらに、その問題に解答するチームを、自チームのみ・相手チームのみ・両チームから選択します。「チャレンジ問題」では、正解すると難易度得点として加算され、誤答すると(100-難易度)点が減点されます。例えば、難易度70の問題では、正解チームに70点加算され、誤答チームは30点減点されます。「チャレンジ問題」の次の問題は「ノーマル問題」となります。

5問目が終了した時点で得点の大きいチームが勝利となりますが、5問目が「ノーマル問題」であり、1チームのみが正解し、正解チームの合計点数が相手チームより低い場合、延長戦が行われます。延長戦が発生した場合は、6問目終了時点の得点で勝敗が決します。

1対1のトーナメント形式ということもあり、高校生たちの熱い戦いが繰り広げられました。難易度の数字が小さく、相手に加算される点数が少ない問題を相手に解答させ、試合を有利に進めるチームや、減点の少ない難しい問題を自分で解答し問題数を進めるチームなど様々な戦略が繰り広げられました。クイズ中は真剣勝負をしていた高校生たちの中には、負けてしまっても相手チームの健闘を讃え、思いを託すチームもいました。

最終成績

優勝 千葉代表 県立千葉

準優勝 静岡代表 浜松学芸

ベスト4 神奈川代表 浅野 沖縄代表 昭和薬科

ベスト8 北海道代表 札幌南 岐阜代表 岐阜 ネット大会代表 開成 ネット大会代表 洛北

ベスト16 群馬代表 中央中等 新潟代表 新潟 富山代表 富山 石川代表 金大附属 長野代表 松本秀峰
広島代表 広島 徳島代表 城東 鹿児島代表 ラ・サール



全国大会本戦トーナメント表



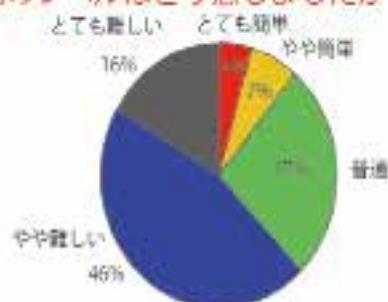


Q 参加して楽しかったですか？



参加して下さった高校生の約8割の方が楽しかったと回答してくれました！

Q 問題のレベルはどう感じましたか？



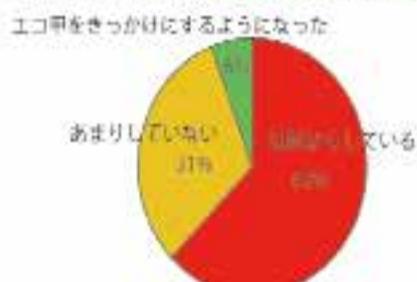
難しく感じた高校生が多かったようです。問題や教材のさらなるブラッシュアップの必要性を感じました。

Q 大会に備えてどれくらい勉強をしましたか？



過半数の参加者が5時間以上勉強、対策をしたようです。ある程度の金融知力を身に付けられたと言えます。

Q こづかいの中から貯金していますか？



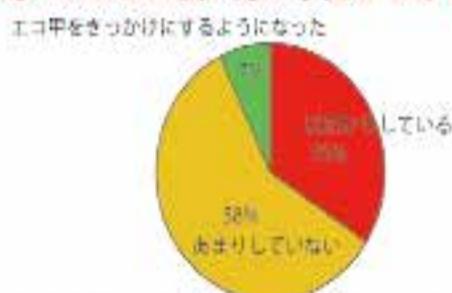
もうすでに、こづかいの中から貯金している高校生が多くいました。エコ甲をきっかけに貯金する参加者を増やしていくのが課題です。

Q マルチ商法やねずみ講について



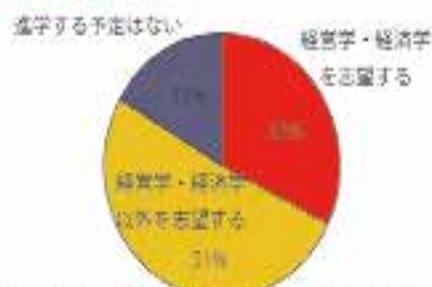
マルチ商法やねずみ講については以前から詳しく知っていた参加者が多かったようです。理解が増した参加者も多いようです。

Q 月々のお金の使い方の予算を立てていますか？



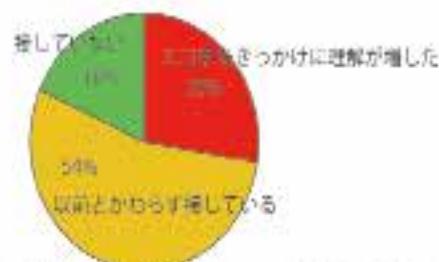
月々の予算を立てている高校生は少なかったです。金融知力の基礎となる部分なので、多くの高校生に実践して欲しいです。

Q 進路について



経営学・経済学を志望していない高校生も金融知力に関心を持ち、多くの方がエコノミクス甲子園に参加しています。

Q 日頃、新聞やニュースに接し理解していますか？



エコ甲をきっかけにして、新聞やニュースに触れるようになった高校生が一定数いたことは本大会の成果だと言えます。



■地方大会

大会名	取材（新聞）	取材（その他）
北海道		シンニチ保険 Web
青森	東奥日報	
秋田	秋田魁新報	
茨城	日本経済新聞	
千葉	毎日新聞	
富山	北日本新聞	
福井		ICT 教育ニュー ス
岐阜	中日経済新聞 中日新聞	ぎふチャン DIGITAL
静岡	静岡新聞	
広島		シンニチ保険 Web 広島 FM
山口	山口新聞	シンニチ保険 Web
徳島	徳島新聞	
愛媛	愛媛新聞	
沖縄	琉球新報	

■全国大会

テレビ	テレビ朝日
新聞	金融経済新聞
新聞	保険毎日新聞
新聞	ニッキン
新聞	読売中高生新聞
新聞	朝日新聞
新聞	新日本保険新聞
新聞	日本教育新聞
新聞	北海道新聞
新聞	東奥日報
新聞	富山新聞

新聞	北陸中日新聞
新聞	北國新聞
新聞	福井新聞
新聞	日刊県民福井
新聞	山梨日日新聞
新聞	上毛新聞
新聞	山口新聞
新聞	佐賀新聞
WEB	47NEWS
WEB	クイズジャパン
WEB	QUICK Money World





エコノミクス甲子園では各企業・団体様から寄付していただいたテキストを、事前学習教材として無料で参加生徒に送付しております。

事前学習教材の内容からクイズが多数出題されるので、生徒達も大会前にしっかりと勉強してくれており、単純にテキストを配布するよりも高い学習効果を上げています。(順不同)

 <p>■ 今日から役に立つ、経済の読み方と投資の基礎 (作成：金融知力普及協会)</p>	 <p>■ もっと知りたい税のこと (令和2年6月) (作成・寄贈：財務省) 財務省 Web サイト https://www.mof.go.jp/</p>
 <p>■ 初めてのJリート 今日から始められるかんたん不動産投資 (作成・寄贈：不動産証券化協会) 不動産証券化協会 Web サイト https://www.ares.or.jp/</p>	 <p>■ 基礎から学べる金融ガイド (作成・寄贈：金融庁) 金融庁 Web サイト https://www.fsa.go.jp/</p>
 <p>■ マナブとメグミのお金のキホン BOOK (作成・寄贈：全国銀行協会) 全国銀行協会 Web サイト https://www.zenginkyo.or.jp/</p>	 <p>■ 10代から学ぶパーソナルファイナンス (作成・寄贈：日本ファイナンシャル・プランナーズ協会) 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 Web サイト https://www.jafp.or.jp/</p>
 <p>■ そんぽのホント (フレッシュアーズガイド) (作成・寄贈：日本損害保険協会) 日本損害保険協会 Web サイト http://www.sonpo.or.jp/</p>	 <p>■ わかりやすい投資信託ガイド 2020年版 (作成・寄贈：投資信託協会) 投資信託協会 Web サイト https://www.toushin.or.jp/</p>
 <p>■ これであなたもひとり立ち (作成・寄贈：金融広報中央委員会) 金融広報中央委員会 Web サイト https://www.shiruporuto.jp/public/</p>	 <p>■ わかりやすいリートガイド 2020年版 (作成・寄贈：投資信託協会) 投資信託協会 Web サイト https://www.toushin.or.jp/</p>
 <p>■ 大学生のための人生とお金の知恵 (作成・寄贈：金融広報中央委員会) 金融広報中央委員会 Web サイト https://www.shiruporuto.jp/public/</p>	 <p>■ 前払式支払手段ご利用者のみなさまへ (作成・寄贈：日本資金決済業協会) 日本資金決済業協会 Web サイト https://www.s-kessai.jp/</p>
 <p>■ 18歳までに学ぶ 契約の知恵 (作成・寄贈：金融広報中央委員会) 金融広報中央委員会 Web サイト https://www.shiruporuto.jp/public/</p>	 <p>■ ほけんのキホン (作成・寄贈：生命保険文化センター) 生命保険文化センター Web サイト http://www.jili.or.jp/</p>
 <p>■ 株式会社制度と証券市場のしくみ (作成・寄贈：日本証券業協会) 日本証券業協会 Web サイト http://www.jsda.or.jp/</p>	 <p>■ 進学にかかるお金と奨学金の話 (作成・寄贈：日本ファイナンシャル・プランナーズ協会) 日本ファイナンシャル・プランナーズ協会 Web サイト https://www.jafp.or.jp/</p>
 <p>■ 持続可能な社会の形成に向けた金融行動原則 (作成・寄贈：環境省) 21世紀金融行動原則 Web サイト https://www.pfa21.jp/</p>	



エコノミクス甲子園は、高校生の金融経済リテラシーを高めるという理念にご賛同いただいた、
各社様のご支援により成り立っています。
感謝の思いを込め、ここにご協賛をいただいた各社をご紹介します。

プラチナスポンサー



Manulife

マニユライフ生命

ゴールドスポンサー



Wiennomori Corporation

ブロンズスポンサー





Special Thanks (順不同)

後援・協賛・協力の各社様はじめ、お力をお貸しいただいたすべての皆様(肩書は当時)

<p>マニユライフ生命保険株式会社 取締役代表執行役社長兼 CEO ブノワ・メスレ様</p> 	<p>マニユライフ生命保険株式会社 専務執行役 COS 兼 CGO 勝矢 宏様</p> 	<p>株式会社ウィーンの木 代表取締役 森 正文様</p> 	<p>ファイブスター投信投資顧問株式会社 取締役運用部長兼 チーフ・ポートフォリオ・マネージャー 大木 将充様</p> 	<p>株式会社グッドバンカー 取締役調査部長 倉橋 麻生様</p> 
<p>TAC株式会社 コーポレートユニバーシティ部 副部長 松田 大様</p> 	<p>ラッセル・インベストメント株式会社 運用部 シニアポートフォリオマネージャー 箱崎 真紀子様</p> 	<p>株式会社一休 執行役員 レストラン事業本部長 栗山 悟様</p> 	<p>株式会社 QuizKnock ユーチューバー こうちゃん様</p> 	<p>株式会社 QuizKnock ユーチューバー 乾 様</p> 
<p>認定NPO法人金融知力普及協会 理事長 金子 昌資</p> 	<p>認定NPO法人金融知力普及協会 理事 野中 ともよ</p> 	<p>認定NPO法人金融知力普及協会 上席研究員 水谷 昌弘</p> 		

過去の全国大会優勝者

エコミクス甲子園全国大会 15 回を記念いたしまして、過去の全国大会優勝者の方々に問題を出題いただきました。

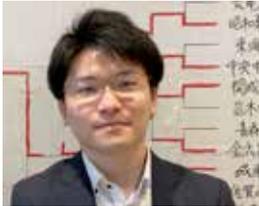
<p>第 1 回大会優勝 ラ・サール高等学校出身 木原 健太郎様</p> 	<p>第 1 回大会優勝 ラ・サール高等学校出身 亀岡 孝展様</p> 	<p>第 2 回大会優勝 開成高等学校出身 安田 吉孝様</p> 	<p>第 2 回大会優勝 開成高等学校出身 安達 光様</p> 	<p>第 3 回大会優勝 東大寺学園高等学校出身 中里 静様</p> 
--	---	--	--	--

Special Thanks



第4回大会優勝
ラ・サール高等学校出身

御手洗 伸様



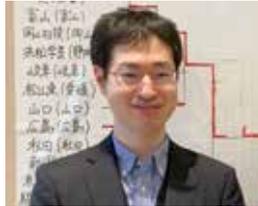
第4回大会優勝
ラ・サール高等学校出身

中村 賢史様



第5回大会優勝
灘高等学校出身

外山 望様



第5回大会優勝
灘高等学校出身

沼 大地様



第6回大会優勝
東大寺学園高等学校出身

横山 友亮様



第7回大会優勝
東海高等学校出身

澤田 昂大様



第7回大会優勝
東海高等学校出身

井上 裕太様



第8回大会優勝
千葉県立千葉高等学校出身

池田 麟太郎様



第8回大会優勝
千葉県立千葉高等学校出身

並木 亮様



第9回大会優勝
宮崎県立宮崎西高等学校出身

宝蔵 花穂様



第9回大会優勝
宮崎県立宮崎西高等学校出身

井上 桃子様



第10回大会優勝
新潟県立新潟高等学校出身

小幡 尚輝様



第10回大会優勝
新潟県立新潟高等学校出身

平山 一帆様



第11回大会優勝
金沢大学人間社会学域学校
教育学類附属高等学校出身

直江 綾太郎様



第11回大会優勝
金沢大学人間社会学域学校
教育学類附属高等学校出身

小菊 聡一郎様



第12回大会優勝
長崎県立長崎西高等学校出身

山口 温大様



第13回大会優勝
福井県立藤島高等学校出身

坪田 実那美様



第13回大会優勝
福井県立藤島高等学校出身

鷲田 樹音様





金融知力普及協会をお支えいただいている各社

サンメッセ株式会社 SMBC 日興証券株式会社 公益社団法人日本証券アナリスト協会
日本証券業協会 マニユライフ生命保険株式会社 三井住友 DS アセットマネジメント株式会社
三井不動産株式会社

問題監修

荻野 昭一 先生（北海道大学 名誉教授）

金融知力普及協会 ボランティアスタッフ

赤井 遥	山口 朔矢	山口 温大	村上 将紀	北島 拓哉	宝蔵 花穂
蟻川 大智	鷺田 樹音	井関 友洋	脇田 直樹	木原 健太郎	宝蔵 蓮也
磯部 元政	池田 怜	大坪 かれん	小谷 健太	齋藤 賢太	堀田 瑤子
梅木 康多	小澤 公弥	大日 方究	関原 悠吾	佐々木 翼	松田 直晃
奥田 剛崇	越智 耀亮	門谷 春輝	中川 原杏奈	佐藤 賢斗	御手洗 伸
尾崎 巧基	籠尾 健太郎	小菊 聡一郎	堀島 正道	住吉 康大	安田 吉孝
國崎 優佑	佐々木 洸輔	鈴木 悠希	山本 桐也	多賀 谷光	山田 玲旺
小嶋 美早紀	笹山 順平	高橋 昂汰	亀山 尚輝	外山 望	山根 有輝也
白戸 玲寿	下條 航大	竹中 颯太郎	安達 光	中里 静	横山 智紀
高良 厚公	杉原 諒	田島 祐也	池田 麟太郎	中村 賢史	
田村 元希	須永 智也	童 菲	井上 桃子	縄田 寛希	
坪田 実那美	谷 尚俊	直江 綾太郎	大城 奈々	西川 陽之	
中島 理乃	中村 徹舟	橋場 芽衣	神谷 涼介	沼 大地	
松岡 知優	森 愛美	橋本 信朗	亀岡 孝展	濱元 貴大	

アドバイザー

クリエイトオフィス・ユークレイル・エイト 藤田雄亮様



第15回大会
スタッフリーダー
下條 航大

第15回エコノミクス甲子園学生ボランティアスタッフリーダーを務めさせていただきました、下條航大です。

今年は、地方・全国大会ともにオンライン開催となってしまう、残念ながら高校生の皆さんに直接お会いすることは叶いませんでした。それでも、画面越しに皆さんの大会に対する熱意や意欲を例年同様、ひしひしと感じ取ることができました。

参加いただいた皆さんのうち、ほとんどの方は健闘及ばず、期待していたほどの成果を得ることはできなかったかと思います。しかしながら、そういった挫折経験を肥やしにすることこそ、皆さんが飛躍するきっかけとなるはずで、エコノミクス甲子園を通して得た経験が、皆さんの高校生生活ひいては、その先の人生における発展の、ほんの少しのきっかけになれば、スタッフ一同大変嬉しく思います。

15回大会に関わったすべての方に、この場をお借りして御礼申し上げます。

エコノミクス甲子園はこれからも続いていきます。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



第15回大会
サブリーダー
谷 尚 俊

第15回エコノミクス甲子園のサブリーダーを務めました、谷尚俊と申します。

今年度のエコノミクス甲子園運営は、新型コロナウイルスの影響を多分に受けました。従来のルーティンが通用せず、計画が予告なしに変更されることも多々ありましたが、下級生を含むスタッフ全員が粘り強く活動し、無事成功させることができました。

今年度から、弊協会は新たな主要事業として「リアビズ 高校生模擬起業グランプリ」を開催しています。高校生から事業計画書を募り、優秀なものに30万円までの貸与をし、商品を開発したり、マーケティング戦略を立てたり、顧客と関わったりしていただく中で、将来に繋がる多様な学び、気づきを得ることができるプログラムです。

この「リアビズ」は、第14回エコノミクス甲子園で行ったビジネスラウンドを1つのイベントとして独立させたものです。昨年、喧々譁々の議論を交わして実現したビジネスラウンドが、今年度だけでも延べ250人以上を巻き込むイベントになりました。エコ甲が毎年続けてきた挑戦が実を結び、より多数の、より多様な高校生に金融教育を届けられるようになったことは、大変喜ばしいことだと思います。

今年度も、オンライン開催、統一ルールを採用など、従来のエコ甲とは一線を画す挑戦をしました。これが来年度以降のヒントになれば嬉しいです。また、来年度以降も新たな挑戦を続け、金融教育の充実に貢献して欲しいと思います。



第15回大会
サブリーダー
杉 原 諒

先に開催された第15回大会のサブリーダーを務めました杉原諒から、ご挨拶申し上げます。

この1年間は、日常生活の至る場面で「社会」それ自体が問われ、その紐帯を再構築することが要求された困難な時期であったのではないのでしょうか。エコノミクス甲子園についても、「参加者に社会と関わり合う契機を提供する場でありたいと思います。」という第14回大会の報告書での私の挨拶の一文にも拘らず、第15回大会では、参加者にとっても、スタッフにとっても互いに参画し、関わり合い、理解することが容易ではないイベントになってしまいました。

それでも、初めてのオンラインでの開催に一抹の不安を感じていた私の目に映った高校生の姿は、時代の情勢を一時忘れさせるような、澆漓としたものでした。いつになく遠くにいるライバルたちと、エコノミカや他愛もない会話に打ち興ずる高校生は、オンラインであることを言い訳にせず、画面の前の他者ととともに、自らエコノミクス甲子園を楽しもうとしていたように思います。彼らの姿勢こそが、第15回大会を成功に導く最後のピースであったと気づかされるとともに、関わる全ての皆様に、金融知力のみならず、相互に参画し、関わり合うことの「価値」を、「生」「人間」「民主主義」などの既存の概念とともにその「価値」が揺らぎ、再構築することを余儀なくされている時代にあって、教示してくれるかけがえのない場であると改めて認識しました。

最後にはなりますが、第15回大会を支えていただきました皆様に感謝を申し上げ、第16回大会もより良い大会にしていくためにスタッフ一同尽力致しますことをお約束して、結びに代えさせていただきます。





第16回大会
スタッフリーダー
國崎 優佑

この度、第16回エコノミクス甲子園スタッフリーダーを務めることになりました、國崎優佑です。私は、第13回大会の山口県代表として大会に出場しました。その出場した際の経験を活かしながら、大会運営をしていきたいと思っています。

日本の高校生にとって、金融経済の仕組みについて触れることはあまりないことでしょう。実際に高校生が、資産運用や銀行の仕組みなどを経験として感得することは難しく、正直なところ、私自身もこの大会に参加するまでは、意識したこともなければ、興味を持ったこともありませんでした。しかし、社会に出た時には、当たり前のように自立して自らのお金を管理していかなければなりません。「知らなかった」では済まされないことにもなり得ます。そこで、このエコノミクス甲子園が、金融経済について勉強するきっかけになればと考えています。この大会に向けて一生懸命、金融経済の仕組みを知り、その中で、金融経済に少しでも興味を持ってもらいたいです。さらにエコノミクス甲子園が終わった後も、高校生が、自主的に金融経済を勉強していくようになる手助けをこの大会が担うことを目指していきます。

また、エコノミクス甲子園は全国から出場者が集まり、全国の高校生が交流することができる場でもあります。高校生にとっては、市や県といった小さな世界を超えてほかの高校生と交流する機会はそのような希少な機会であるエコノミクス甲子園を、高校生が有意義なものだったと感じてもらいたいと思います。高校生が金融経済を自主的に学びながら、他の高校生から刺激を受け、自らの成長につなげていける、このようなエコノミクス甲子園を目指していきたいと考えています。

今年も、16thのスタッフ一同、全力で大会を支えています。地方大会および全国大会で皆さんにお会いできることを楽しみにしています。



第16回大会
サブリーダー
赤井 遥

第16回大会サブリーダーを務めさせていただくことになりました、赤井遥と申します。

第13回エコノミクス甲子園に和歌山県代表として出場しました。その前の年の地方予選の決勝では僅差で敗北し、涙が出るほど悔しい思いをしたことを今でも鮮明に覚えています。

第15回大会には高校生と直接やりとりを行う誘導係として携わりました。オンライン大会だったからこそ、高校生と直接コミュニケーションを取ることができ、例年よりも高校生との距離を縮められた大会になったと思います。高校生との交流を通して、自身が大会を作る側であるという意識を強く持つようになりました。

全国大会という舞台は、大会に参加する当事者と大会を作る当事者が対峙する場であり、同時に前者から後者へのバトンが渡される場であると思います。両者の感情がぶつかった時、バトンが受け継がれ、エコノミクス甲子園の歴史が紡がれてきたのでしょうか。私がかつて大きく心をうごかされたように、誰かの心を動かせるような大会を作りたいです。これから一年間、精一杯尽力させていただきますのでよろしくお願いします！



第16回大会
サブリーダー
松岡 知優

この度、第16回大会エコノミクス甲子園のサブリーダーを務めます、松岡知優と申します。

さて、皆さんも耳にタコができるほど聞いた「新型コロナウイルス」。これらの影響により今まで当たり前のようにしていた日常を送ることが難しくなりました。この状況下で高校生にとって少し壁がある金融・経済を皮肉にも触れる機会が多くなったのではないのでしょうか。金融・経済が自分たちの生活に非常に密接していることを気づかせてくれる1年だったと思います。しかしながら、見る・聞くだけでは知力となりません。ましてや、これらの力を持つことなく社会で活躍することはできないでしょう。エコノミクス甲子園はそんな高校生と経済を繋げる架け橋です。「楽しさ」と「学び」を軸にたくさんの発見を提供します。普通のクイズ大会ではありません。時には戦略性を求められ、時には生活力が求められます。どうぞ、皆さんの持つ全ての力をこの場でぶつけ合い、社会へ出るための礎としてください。考え、悩み抜き、導き出した答えが必ず役に立つような大会を作り上げることをお約束します。

エコノミクス甲子園へ参加してくれることによって多くの高校生が成長してくれることを願い、第16回大会が皆様の心に残るようスタッフ一同尽力して参ります。よろしくお願いいたします。



エコノミクス甲子園 過去開催実績

開催回数	地方大会開催年	全国大会開催日	参加校数	参加チーム数	優勝校
第1回	2006	2007年2月18日	25	33	ラ・サール高等学校
第2回	2007	2008年1月13日	90	237	開成高等学校
第3回	2008	2009年1月25日	154	425	東大寺学園高等学校
第4回	2009	2010年1月10日	201	535	ラ・サール高等学校
第5回	2010	2011年2月12日	237	600	灘高等学校
第6回	2011	2012年1月22日	244	647	東大寺学園高等学校
第7回	2012	2013年2月17日	335	860	東海高等学校
第8回	2013	2014年2月2日	378	1,023	千葉県立千葉高等学校
第9回	2014	2015年2月15日	401	1,134	宮崎県立宮崎西高等学校
第10回	2015	2016年2月28日	410	1,121	新潟県立新潟高等学校
第11回	2016	2017年2月5日	448	1,171	金沢大学人間社会学域学校 教育学類附属高等学校
第12回	2017	2018年2月18日	517	1,297	長崎県立長崎西高等学校
第13回	2018	2019年2月17日	473	1,250	福井県立藤島高等学校
第14回	2019	2020年2月9日	479	1207	大阪府立北野高等学校
第15回	2020	2021年2月14日	388	880	千葉県立千葉高等学校



エコノミクス甲子園全国大会 県別出場校一覧(東日本・前半)

回数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
開催年	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
北海道			旭川東	旭川東	札幌西	旭川東	旭川東	札幌旭丘
青森								青森
岩手				水沢	盛岡第三			
宮城				仙台第一	仙台第二	仙台第二	仙台第二	仙台第二
秋田			秋田商業	秋田商業	秋田中央	横手	秋田	秋田商業
山形							山形東	山形南
福島		福島【東北】	福島【東京】			会津学鳳【関東】	福島	福島
茨城							竹園	土浦第一
栃木							宇都宮【ネット】	矢板東
群馬							富岡	前橋
埼玉			浦和	浦和	早稲田本庄	早稲田本庄	米東	春日部
千葉	県立船橋【東京】			渋谷幕張	渋谷幕張	市川	渋谷幕張	県立千葉
東京	開成	開成	開成	開成			立川	立川
神奈川			聖光学院	聖光学院	横須賀	逗子開成	聖光学院	聖光学院
新潟								国際情報
富山			片山学園	高岡商業	片山学園	高岡	高岡	高岡
石川		金沢大附	金沢大附	金沢大附	金沢大附	金沢大附	金沢大附	金沢泉丘
福井			高志	高志	福井高専	福井高専	藤島	藤島
山梨					甲府南【関東】	甲府南	甲府南	甲府南
長野								長野
岐阜						県立岐阜	県立岐阜	岐阜東
静岡						島田商業	三島	浜松西
愛知	南山女子【大阪】	滝	名大附	名大附	名大附	旭丘	東海	東海
三重						津	三重	川越
滋賀								

【 】内は所在地以外の県で実施された予選(第1回)・地方大会名。第2回のラ・サールは2チーム出場



エコノミクス甲子園全国大会 県別出場校一覧(東日本・後半)

回数	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	
開催年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
北海道	札幌南	札幌南	札幌南	札幌南	札幌南	北見北斗	札幌南	2年ぶり6回目
青森	青森	青森	弘前	青森	弘前	弘前	青森	3年ぶり5回目
岩手			盛岡中央	盛岡第三	一関第一	岩泉		
宮城	仙台二華	仙台二華	仙台第一	古川黎明	仙台第二	聖ウルスラ		
秋田	秋田西	秋田	秋田	由利	秋田商業	秋田	秋田	2年連続5回目
山形	山形東	山形東	鶴岡南	山形南	山形南	寒河江		
福島	福島高専	白河	福島	福島	福島	県立福島		
茨城	水戸第一	土浦第一	並木中等	土浦第一	並木中等 竹園【ネット】	江戸川取手	並木中等	2年ぶり3回目
栃木	宇都宮	宇都宮	宇都宮	宇都宮	宇都宮	宇都宮	宇都宮	7年連続8回目
群馬	高崎女子	前橋	女子国際	四ツ葉学園	中央中等	中央中等	中央中等	3年連続3回目
埼玉	栄東	栄東	浦和	栄東	県立川越	栄東	栄東	2年連続6回目
千葉	渋谷幕張	柏	東葛飾	渋谷幕張	渋谷幕張	渋谷幕張	県立千葉	7年ぶり2回目
東京	渋谷	早稲田	お茶の水 女子大附属	早稲田	早稲田	都立武蔵	開成【ネット】	11年ぶり5回目
神奈川	横須賀	慶応義塾	聖光学院	栄光学園	湘南	慶應SFC	浅野	初出場
新潟	新潟明訓	新潟	新潟	新潟明訓	新潟	新潟	新潟	3年連続5回目
富山	高岡	高岡	富山	富山	富山中部	富山	富山	2年連続4回目
石川	金沢大附	金沢大附	金沢大附	金沢大附	金沢大附	金沢大附	金沢大附	7年連続13回目
福井	藤島	高志	羽水	藤島	藤島	高志	高志	2年連続5回目
山梨	甲府南	甲府南	甲陵	甲府南	甲府南	甲府南	駿台甲府	初出場
長野	諏訪清陵	松本深志	松本深志	松本深志	松本深志	上田	松本秀峰	初出場
岐阜	県立岐阜	県立岐阜	県立岐阜	県立岐阜	県立岐阜	岐阜	岐阜	7年連続10回目
静岡	静岡雙葉	静岡	知徳*	知徳*	御殿場南	浜松学芸	浜松学芸	2年連続2回目
愛知	滝	滝	滝	東海	旭丘	東海	東海	2年連続5回目
三重	川越	宇治山田商業	四日市商業	伊勢	桜丘	暁	暁	2年連続2回目
滋賀		水口東	膳所	守山	水口東	県立守山		

* 静岡「知徳」は前校名「三島」





エコノミクス甲子園全国大会 県別出場校一覧(西日本・前半)

回数	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回
開催年	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014
京 都								
大 阪	星光学院						清風南海	星光学院
兵 庫		灘 【関西】		灘 【関西】	灘 【関西】	灘 【関西】		関西学院 【ネット】
奈 良			東大寺【大阪】	東大寺	奈良学園	東大寺	智辯奈良C	智辯奈良C
和歌山								
鳥 取								鳥取西
島 根							松江北	浜田
岡 山		岡山白陵	岡山朝日	岡山朝日	岡山白陵		岡山城東	岡山白陵
広 島						広大福山 【中園】	修道	広島学院
山 口							宇部	宇部
徳 島					城東	城ノ内	城ノ内	徳島市立
香 川		観音寺第一	高松	観音寺第一	高松	高松	高松	高松
愛 媛			愛光	愛光	松山東	松山西	松山西	松山西
高 知								高知学芸
福 岡			西南学院				修猷館	修猷館
佐 賀				致遠館【九州】	致遠館【九州】			
長 崎					長崎北	長崎南山	長崎商業	佐世保北
熊 本						熊本【九州】		
大 分								
宮 崎							宮崎西	宮崎第一
鹿児島	ラ・サール 【福岡】	ラ・サール 【九州・熊本】		ラ・サール	ラ・サール 鶴丸【敗者復活】	ラ・サール	ラ・サール	鶴丸
沖 縄		昭和薬科	昭和薬科	昭和薬科	昭和薬科	昭和薬科	那覇国際	那覇国際
中 国								
台 湾								
出場校数	5	10	16	20	24	25	34	40

【 】内は所在地以外の県で実施された予選・地方大会名。第2回のラ・サールは2チーム出場



エコノミクス甲子園全国大会 県別出場校一覧 (西日本・後半)

回数	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回	
開催年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	
京都	洛北【ネット】		洛北	洛南	洛北	洛北	洛北【ネット】	3年連続5回目
大阪	開明	金蘭千里 星光学院 【10回記念】	星光学院	星光学院	星光学院	北野		
兵庫		灘	灘 甲陽学院【ネット】	神戸女学院	灘	神戸女学院		
奈良	智辯奈良C	東大寺	東大寺	東大寺	東大寺	青翔		
和歌山				智辯和歌山	智辯和歌山	近大和歌山		
鳥取	鳥取西	湯梨浜	青翔開智	湯梨浜	青翔開智	鳥取西		
島根	松江商業	隠岐	情報科学	松江商業 横田【ネット】	松江高専	松江高専		
岡山	倉敷精思	倉敷精思	倉敷天城	倉敷精思	倉敷天城	倉敷天城	岡山白陵	7年ぶり4回目
広島	修道	広島学院 近大東広島 【ネット】	広大福山	安田女子	広島学院	広島学院	広島	初出場
山口	宇部	下関西	下関西	大島商船	山口	宇部高専	山口	2年ぶり2回目
徳島	徳島市立	城東	徳島市立	徳島市立	城東	城東	城東	3年連続5回目
香川	高松	高松	観音寺第一	高松	高松	高松	丸亀	初出場
愛媛	松山西	愛光	愛光	今治西	松山東雲	今治西	松山東	10年ぶり2回目
高知	高知小津	土佐	高知学芸	高知学芸	土佐塾	土佐		
福岡	筑紫丘	大牟田	修猷館	福工大城東	福岡	久留米大附	宗像	初出場
佐賀		致遠館	致遠館	弘学館	弘学館	早稲田佐賀	佐賀西	初出場
長崎	精道三川台	精道三川台	長崎西	長崎西	精道三川台	青雲		
熊本			八代					
大分			安心院					
宮崎	宮崎西	宮崎第一	宮崎第一	宮崎大宮	宮崎第一	日向学院	宮崎西	6年ぶり3回目
鹿児島	鶴丸	国分中央	鶴丸	ラ・サール	ラ・サール	ラ・サール	ラ・サール	4年連続10回目
沖縄	昭和薬科	昭和薬科	昭和薬科	球陽	昭和薬科	昭和薬科 N高【ネット】	昭和薬科	3年連続11回目
中国			甘泉					
台湾				台湾師大附				
出場校数	40	44	48	47	46	46	32	



■第1回



■第2回



■第3回



■第4回



■第5回



■第6回



■第7回



■第8回





■第9回



■第10回



■第11回



■第12回



■第13回



■第14回



■第15回





協賛



Manulife
マニユライフ生命



Wiennomori Corporation

